AGC

Your Dreams, Our Challenge

超速硬化ウレタン吹付けシステム

リムスプレー®

RIMSPRAY

2023年7月版

目次

超速硬化ウレタン吹付けシステム 5

- リムスプレー 5
- リムトナー標準色 5

駐車場防水工法 6

- AD-RV工法 6

R-2000と高硬度・高強度ウレタンV-3000を組み合わせた、画期的な駐車場防水工法です。タイヤによる摩耗やへたり、ネジレなどに強く、強靭で防滑性に優れた駐車場床を屋上に形成します。

- AD-VV工法 6

特殊屋根防水工法 9

- 遮熱・遮音・金属防錆MR工法 9

金属屋根(折板や瓦棒)の防錆・防食・防水改修工法です。
既設下地を撤去しない、環境にやさしい工法です。

- 勾配屋根・球形タンクSR工法 10

勾配屋根、球形タンクなどの防水工法です。
複雑な形状でも均一な塗膜を形成します。

機械的固定屋根防水工法 11

- 機械的固定メカロックML工法 11

既設下地を撤去せずに、絶縁シートを被せて固定金具で固定し、新たな下地を形成する、環境にやさしい浮かし張り工法です。通気緩衝工法としてもご利用いただけます。

- 外断熱・機械的固定AIM工法 13

断熱ボードを固定金具で下地に固定することによって、断熱性を有する新たな下地を形成する、浮かし張り外断熱工法です。建物の省エネ、長寿命化を実現します。

一般屋根防水工法 17

- 通気緩衝AV工法 17

通気効果と緩衝効果を併せ持つAVシートの上にウレタン防水層を積層した、準密着・絶縁式の複合塗膜防水工法です。

- 自着層タイプ通気緩衝QV工法 19

特殊なアスファルト系粘着層付きの通気緩衝シートをプライマーが硬化・乾燥した後の下地に直接張り付けることができる通気緩衝工法です。

- 密着SD工法 24

業界に先駆け、上市以来の実績に支えられた、スタンダードな密着工法です。

- 複合防水密着工法(堅鎧システム) 25

高強度形防水材リムスプレーと高伸長形防水材サラセーヌを組み合わせることで、通気緩衝工法に匹敵する下地追従性を実現します。

床工法 26
- 一般床YK工法 26
- 階段室床KD工法 26
- 高荷重床HY工法 26

競技場床工法 27
- 観覧席GSG工法 27
- コンコースGS工法 27

プール工法 28
- RP-PP工法 28

官公庁防水仕様 29
- 公共建築工事標準仕様相当工法 29

製品情報 33
- リムスプレー 33
- プライマー 37
- 保護仕上材 39
- 補強用クロス 45
- 環境対応型 特化則非該当(特定化学物質無配合)
  1液ウレタン防水材 46
- 施工用具類 46
- 製品一覧 47

製品取り扱い上のご注意 53
- 施工時の安全と注意 53
- 現場保管時の安全と注意 53
- 容器の取り扱い上の注意 53
- 材料貯蔵時の安全と注意 53
- 産業廃棄物処理について 53
- 消防法の規制について 54

ご採用いただいたお客様へ 55
- 施工中のお願い 55
- 屋根用ウレタン塗膜防水材(露出工法)の使用上の注意事項 55
- 屋根用ウレタン塗膜防水材の維持管理のお願い 55
- 駐車場床ウレタン防水工法の使用上の注意事項 56
- 駐車場床ウレタン防水工法の維持管理のお願い 56
- 防水保証の考え方 56

超速硬化ウレタン吹付けシステム

リムスプレー®
RIMSPRAY®

リムスプレーは上市以来、超速硬化ウレタン・ウレア樹脂系吹付けシステムのパイオニアとして、常に業界をリードし続けています。また近年では、防水材としての基本的な物性に優れるとともに環境にもやさしいハイクオリティーな材料として評価を高めています。

リムスプレー（RIMSPRAY）は、**RIM + SPRAY** の複合語です。
RIM は自動車のバンパー成形などに用いられる高速反応型の成形方法（Reaction Injection Molding）の略称です。
つまり、リムスプレーは「超速硬化」のウレタン塗膜を「スプレーで成形する」技術を表しています。

＊「リムスプレー」および「RIMSPRAY」は当社の登録商標です。

■硬化速度・物性発現が速い

十分な強度の塗膜をすばやく形成

イソシアネート（主剤）とポリエーテルポリオールおよび特殊アミンの混合レジン（硬化剤）は、混ぜ合わせると短時間で硬化します。リムスプレーはこの仕組みを利用し、主剤と硬化剤をスプレーガンの先端で混合して吹き付ける、衝突混合方式などを採用しています。

作業時間を大幅に短縮

吹付け後、約 10 秒で指触可能、約 15 分で歩行可能となり、30 分程度で所要の物性値が発現します。塗布後、短時間で実用強度を得ることができるので、すぐに塗膜の積層ならびに次工程の施工が可能で、工期を大幅に短縮することができます。
集合住宅の開放廊下・階段室など通行制限が必要な現場でも、居住者に対する拘束時間が大幅に短縮できるため、リフォーム、リニューアルに最適です。

複雑な形状でも自在に施工可能

斜面、垂直面、球面など、どのような複雑な形状に対しても連続的に施工が可能なため、シームレスで一定した厚みのウレタン塗膜が確保できます。

■作業効率、品質管理に優れた機械施工

大幅な省力化と飛躍的な施工効率の改善

マシン1台当り、1日に約500m²の施工（目安）が可能で、大面積の現場に最適です。また、マシンが材料を地上から圧送するので、材料の荷揚げ・荷下ろしが不要です。（通常装備ホース長さ90m）

常に安定した品質を確保

主剤および硬化剤には溶剤を一切使わず、最適な粘度および混合比率を保てるように、マシンで管理しているため、常に安定した品質を確保できます。

また、マシンの定量ポンプに計測装置を搭載しているので材料管理が容易で、均一な品質と膜厚が楽に得られます。

■優れた物性・耐久性

耐久性も、歩行感も抜群

日本産業規格 JIS A 6021 ウレタンゴム系高強度形を認証取得している超速硬化ウレタン防水材であるため、防水工法として補強布なしの密着工法が可能です。基本性能である防水性はもちろんのこと、耐久性・耐摩耗性が良好で、フォークリフトや一般車両に対応できる仕様も用意しています。

さらに、弾性ウレタンなので歩行感がソフトで均一なエンボス仕上げが可能です。

建物の長寿命化に貢献

下地の凹凸に左右されにくく、均一な塗膜厚さが得やすいため、コンクリートの中性化の引き金になる下地クラック部分を効果的にカバーします。

また、桟橋の防舷材や海洋ブイの表面保護材としても優れた実績を有しており、沿岸地域のコンクリート構造物の塩害対策にも広く利用されています。

■環境にやさしい無溶剤タイプ

リムスプレーは、居住者に配慮した無溶剤タイプです。建築基準法28条の2「居室内における化学物質の発散に対する衛生上の処置」に定めるホルムアルデヒド放散等級「F ☆☆☆☆」（使用規制外）に登録されています。

プライマーや保護仕上材は溶剤系も使用できます。システム全体で無溶剤タイプを選択される場合は、環境対応型の PW-100 プライマーおよび環境対応型保護仕上材をお選びください。環境対応型のプライマーおよび保護仕上材については 37 ～ 40 ページをご覧ください。

また、リムスプレー F-1000、R-2000、V-3000 は労働安全衛生法の特定化学物質に該当しません。プライマー、保護仕上材も同じく特定化学物質非該当製品を使用することで、システム全体で特化則対応仕様とすることができます。詳細については 47 ～ 48 ページをご覧ください。

超速硬化ウレタン吹付けシステム

リムスプレー

リムスプレー

F-1000

・**JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形の認証製品**です。
・わが国初の超速硬化ウレタン吹付け防水材として登場し、その優れた物性バランスと高い耐久性により、歩行用一般防水から開放廊下・駐車場床まで幅広い用途に採用されています。

R-2000

・**JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形の認証製品**で、歩行用共用防水グレードであり、優れた伸び特性が特長です。
・高い抗張積を有し、国土交通省監修「建築工事管理指針」における塗膜防水「標仕」以外の工法“高強度超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水”に適合する防水材料です。

V-3000

・**JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形の認証製品**です。
・硬度・強度が極めて高く、耐久性に優れた強靭な塗膜を形成する、超速硬化ウレア-ウレタン吹付け防水材です。駐車場システムの表層材として最適です。
・耐衝撃性・耐摩耗性に優れ、倉庫やフォークリフト走行場所など、負荷のかかる床に適しています。
・耐薬品性に優れ、塩素・アルカリ・酸などの洗浄剤の使用が可能です。

P-3300

・超速硬化ウレア-ウレタン吹付け防水材で防水・防錆・コンクリート保護効果に優れた物性を持ち、シームレスで躯体と一体化した強靭な塗膜層を形成します。
・無溶剤タイプかつ環境ホルモン物質を一切含まない材料です。

■歩行分類
●**歩行用**：不特定多数の歩行に供する場合　●**軽歩行用**：特定の人の歩行に供する場合　●**非歩行用**：点検程度の人の歩行に供する場合

リムトナー標準色

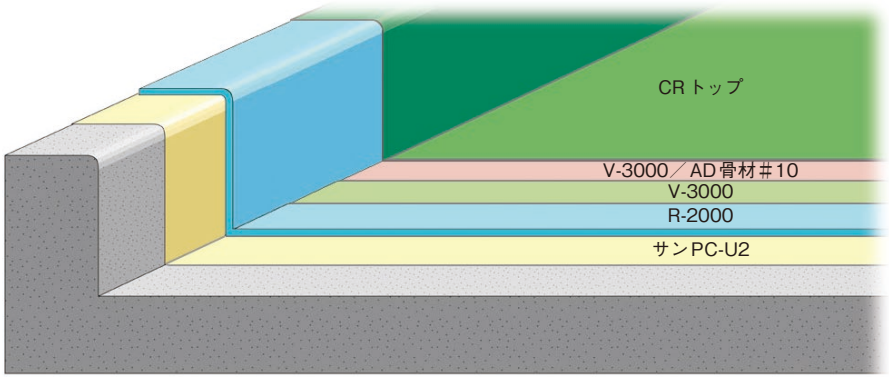
常備色		非常備色		
ライトグレー	グレー	ライトグリーン	オオド	ホワイトベース

・この色見本は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・淡色系の仕上げが必要な場合は、ホワイトベースでリムスプレーを着色し、保護仕上材でご希望の色に仕上げてください。
・リムトナーの特注色対応はできません。保護仕上材でご希望の色に仕上げてください。
・納期はお問い合わせください。
・保護仕上材のカラーバリエーションについては、39 ページをご覧ください。

・防火地域および準防火地域においては、建築基準法によってカタログ記載のリムスプレー工法は勾配30°以内、断熱材50mm以下の耐火構造下地に適用します。
・カタログに記載した仕様以上の厚みを希望される場合は、当社にお問い合わせください。
・工法、仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

駐車場防水工法

AD-RV工法
AD-VV工法



特長

- AD-RV工法は、R-2000と高硬度･高強度ウレタンV-3000を組み合わせた、画期的な駐車場防水工法です。
- どんな形状の下地でも、シームレスで下地追従性に優れた防水層が高い防水性能を発揮し、タイヤによる摩耗やネジレなどに強く、高硬度･高強度ウレタンが強靭で防滑性･耐薬品性に優れた耐久性を実現します。
- 押えコンクリートやアスコンを必要としない工法なので、大幅な軽量化とともに、トータル建設費の低減に貢献します。
- 露出工法なので点検が容易です。万一ウレタン層が損傷した場合でも補修が容易で、短時間に対処できます。

仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m²)	備 考
AD-RV30CR	1 サンPC-U2※1 2 R-2000 3 V-3000 4 V-3000／AD骨材＃10 5 CRトップ	0.2 1.5 0.5 1.0／0.4 0.2	防水層厚み平均 3mm
立上り-RR20CR	1 サンPC-U2※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	立上りおよび非走行部仕様 防水層厚み平均 2mm
AD-VV30CR	1 サンPC-U2※1 2 V-3000 3 V-3000／AD骨材＃10 4 CRトップ	0.2 2.0 1.0／0.4 0.2	硬質・高耐久仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-VV20CR	1 サンPC-U2※1 2 V-3000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	硬質・高耐久仕様 立上りおよび非走行部仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

・56ページの「駐車場床ウレタン防水工法の使用上の注意事項」をご覧ください。

・防水保証については56ページの「防水保証の考え方」をご覧ください。

・特殊下地の場合は事前にご相談ください。

・R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、AD-RV30CR工法でF-1000に変更する場合、工法名はAD-FV30CR工法となります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

AD-RV工法の基本物性

試験項目	試験方法	試験結果
下地亀裂抵抗性試験（亀裂幅mm）	引張速度：5mm/min	38
繰り返し疲労試験	1～5mm（5s/回）	3,650回異常なし
耐摩耗性（摩耗量ｇ）	回転摩耗促進試験10,000回 （負荷荷重：56kg、 単位面積荷重：0.735N/mm^2）	1.2
滑り抵抗係数	ASTM E303-83　Dry ASTM E303-83　Wet	90 57
耐薬品性※1	ガソリン エンジンオイル	○ ○

※1：48時間スポット試験による試験結果、23℃。
・上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境によって変化する場合があります。

回転摩耗促進試験

滑り抵抗試験

駐車場スロープ防水仕様

工法名	工 程	使用量（kg/m^2）	備 考
AD-RV30CRゼブラ仕上げ	1　サンPC-U2※1	0.2	
	2　R-2000	1.5	スロープ仕様
	3　V-3000	0.5	防水層厚み平均 3mm
	4　V-3000／AD骨材＃10	1.0／0.4	
	5　ゼブラ部　割付・養生	—	
	6　ゼブラ部　V-3000	1.5	ゼブラ層※2厚み
	7　ゼブラ部　V-3000／AD骨材＃10	1.0／0.4	平均 2.5mm
	8　全面　CRトップ	0.2	

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※2：ゼブラ仕上げは右頁割付図を参考にしてください。
・ご採用検討の際は、事前にご相談ください。

改修前

改修後

ゼブラ仕上げ

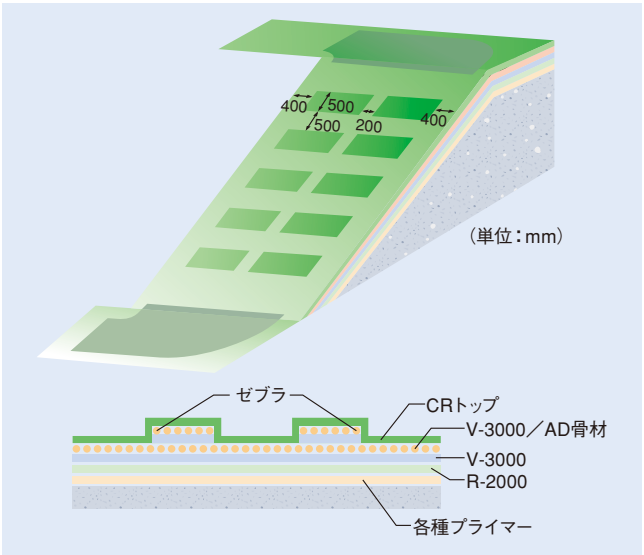
ゼブラ仕上げの施工手順　代表例：AD-RV30CRゼブラ仕上げ工法（7ページ）

工程4	ゼブラ部	ゼブラ部	ゼブラ部	工程5
平場全面にV-3000／AD骨材1.4kg/m²吹付け。(1.0kg/m²／0.4kg/m²)	下図の割付けを参考に施工面を割付け、見切りバッカーおよび養生シートなどで養生。	ゼブラ施工面にV-3000を1.5kg/m²吹付け、平滑に仕上げる。	ゼブラ施工面にV-3000／AD骨材1.4kg/m²吹付け。(1.0kg/m²／0.4kg/m²)	全面にCRトップ0.2kg/m²塗布。

・各工程とも塗布間隔が1日以上開いた場合、または雨に打たれた場合は、層間プライマーとしてサンPCを塗布してください。

ゼブラ仕上げの割付例

スロープ面（昇降口付近）およびカーブ面



スロープ面や走路カーブなど、特に使用頻度や走行状況が激しい場所での滑りや摩耗を低減します。

品質改善の下地処理方法

リムスプレー施工時に、より品質の良い防水層を形成するために下地がコンクリートやモルタルの場合は、以下の下地処理方法を推奨いたします。

【対象工法】AD工法、SD工法、SR工法、HY工法、GS工法

方法：

各工法プライマー塗布硬化後、サラセーヌ防水材（サラセーヌK、サラセーヌEZ、サラセーヌSB）を0.5kg/m²程度しごき塗りし、硬化後にリムスプレーを吹き付けます。

メリット：

①ピンホール抑制：下地から出るエアーが原因で起こるピンホールの発生を抑えます。

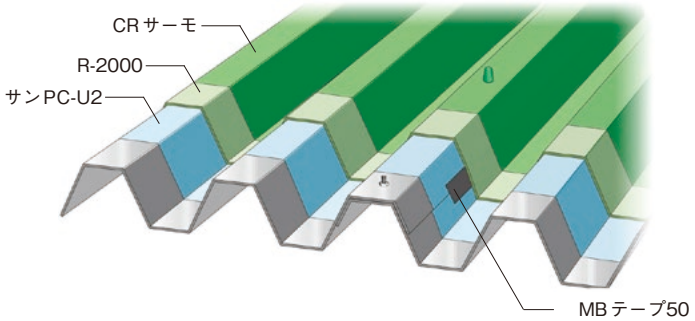
②吹き付け施工間隔の延長：プライマー上に吹き付けた場合と比べ、施工間隔が長くなります。

③下地凹凸の低減：超速硬化ウレタンスプレーは硬化が速いため、上記の下地処理を行うことで下地の形状が出やすくなることを防ぎます。

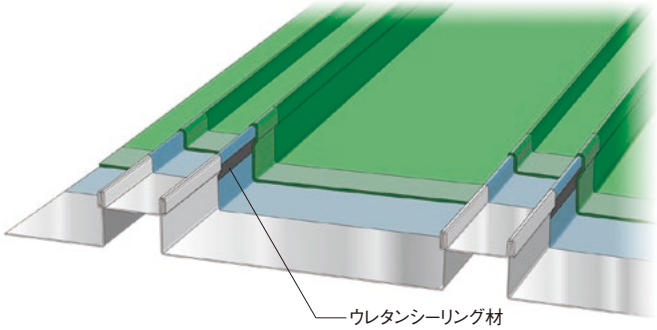
特殊屋根防水工法

遮熱・遮音・金属防錆MR工法

折板屋根MR工法



瓦棒屋根MR工法



特長

- 金属屋根(折板や瓦棒)の防錆・防食・防水改修工法です。
- 既設下地を撤去しないため、産業廃棄物を低減させます。
- 既存屋根を残したまま工事するので、建物を使用しながら改修工事が行えます。
- 吹付け工法なのでシームレスな塗膜を形成し、複雑な形状にも対応できます。
- 鉄部表面の酸化による劣化を防ぎます。
- 遮熱用保護仕上材を使用しているので、温度上昇を抑制します。
- 屋根の雨音を低減します。

仕様

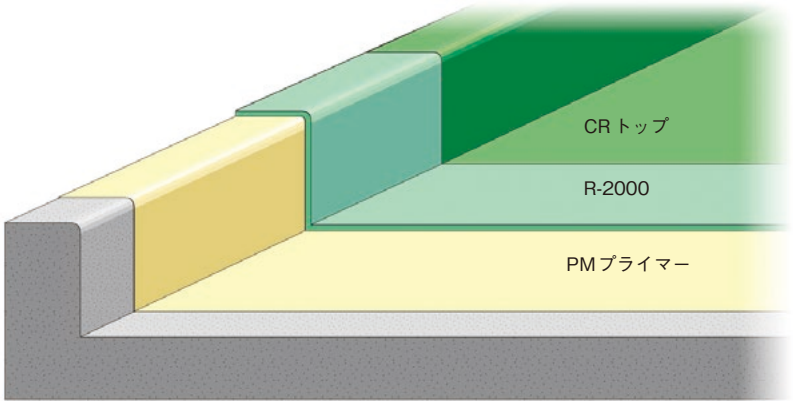
工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
MR-RR16CRサーモ	1　サンPC-U2 2　R-2000 3　CRサーモ	0.15 1.6 0.2	防水層厚み平均 1.6mm
MR-RR20CRサーモ	1　サンPC-U2 2　R-2000 3　CRサーモ	0.15 2.0 0.2	防水層厚み平均 2mm

・R-2000 (JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形) は、F-1000 (JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形) に変更可能です。例えば、MR-RR16CRサーモ工法でF-1000に変更する場合、工法名はMR-FF16CRサーモ工法となります。
・下地の状態により、プライマーは金属下地用サンPC-U2と防錆剤入りPE-670プライマーの2種類から選べます。37ページをご覧ください。
・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39〜40ページをご覧ください。

◀リムスプレー瓦棒屋根吹付動画

特殊屋根防水工法

勾配屋根・球形タンクSR工法



仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m²)	備 考
SR-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	防水層厚み平均 2mm
SR-RR30CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 3.0 0.2	防水層厚み平均 3mm
立上り-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

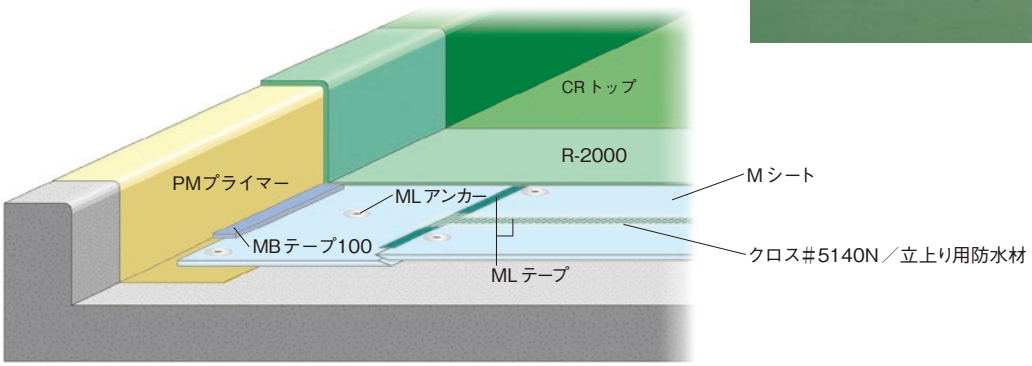
※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

・R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、SR-RR20CR工法でF-1000に変更する場合、工法名はSR-FF20CR工法となります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

機械的固定屋根防水工法

機械的固定
メカロックML工法



特長

- 既設下地を撤去せずに、絶縁シートを被せて固定金具で固定し、新たな下地を形成する、環境にやさしい浮かし張り工法です。通気緩衝工法としてもご利用いただけます。
- 既設の防水層の種類に左右されずに改修できます。
- 工期を短縮します。
- 産業廃棄物を低減させます。
- 既設の防水層を残すので、工事中の漏水事故を防ぐことができます。
- 下地の水分を通気させ、ふくれを未然に防ぎます。

仕様

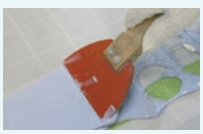
工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
ML-RR20CR	1 Mシート MLアンカー MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 2 R-2000 3 CRトップ	1.06m 3.2本 1.06m 0.06m — 2.0 0.2	軽歩行用仕様 防水層厚み平均 2mm
ML-RR30CR	1 Mシート MLアンカー MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 2 R-2000 3 CRトップ	1.06m 3.2本 1.06m 0.06m — 3.0 0.2	軽歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

- R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、ML-RR20CR工法でF-1000に変更する場合、工法名はML-FF20CR工法となります。
- 保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。
- 品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。例えば、ML-RR20CR工法でRMフッ素に変更する場合、工法名はML-RR20RMF工法となります。
- 立上り部は既設防水層を撤去してください。
- 「サラセーヌ製品」の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご覧ください。

おすすめ

シートジョイント処理のクロス#5140N上の防水材シゴキ塗りには、1液防水材「サラセーヌSB立上り用」が便利です。(0.5kg/m²、70～80g/m)



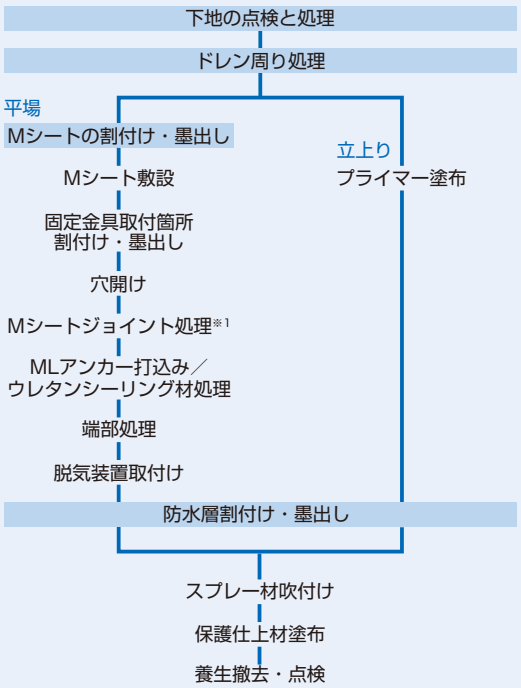
Mシート

・自着層付き改質アスファルト／ポリエステルフィルム
・荷姿：(幅1.04m×長さ15m) ×1巻／クラフト紙梱包

性状・物性

	Mシート
シート重量(g/m²)	1,260
シート厚み(mm)	粘着箇所:1.4　通気箇所:1.0
引張強さ(N/5cm)	縦:826 横:889
伸び率(%)	縦:3.7　横:4.1
引裂強さ(N)	縦:56　横:59
通気量(ml/min)	1,000

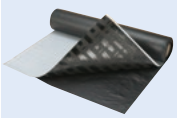
施工フロー



※1：Mシートジョイント処理：Mシートのジョイントにテープを全面に貼付後、Mシート短辺のジョイントにクロス#5140Nを貼付し、立上り用防水材で目止め処理してください。
Mシート長辺のジョイントおよび端部は、必要に応じて立上り用防水材で目止め処理してください。

ML工法関連防水資材

Mシート



・機械的固定工法用絶縁シート
・自着層付き改質アスファルト／ポリエステルフィルム
・下地からの影響をMシートが絶縁し、耐下地亀裂性を高めます。
・脱気筒を取り付ける場合には、50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。
・荷姿：(幅1.04m×長さ15m) ×1巻／クラフト紙梱包
・**注意事項**
①水濡れ厳禁
②横積み厳禁

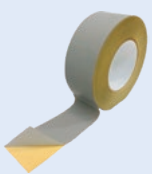
MLアンカー 40／60／70／80

・Mシート用固定金具
・耐食アルミ
・荷姿：500本／箱

・寸法:	40	60	70	80
アンカー長	40mm	60mm	70mm	80mm
ドリル径	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ

・**注意事項**
MLアンカーは躯体に30mm以上深く入るものを選択してください。

MLテープ

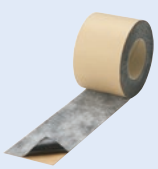


・Mシートジョイント処理用
・自着層付きポリエステルフィルム
・荷姿：(幅50mm×長さ50m) ×10巻/箱
・水濡れ厳禁

クロス#5140N

・Mシート短辺ジョイント補強用
・自着層付きポリエステル繊維クロス
・荷姿：(幅140mm×長さ50m) ×7巻/箱
・水濡れ厳禁

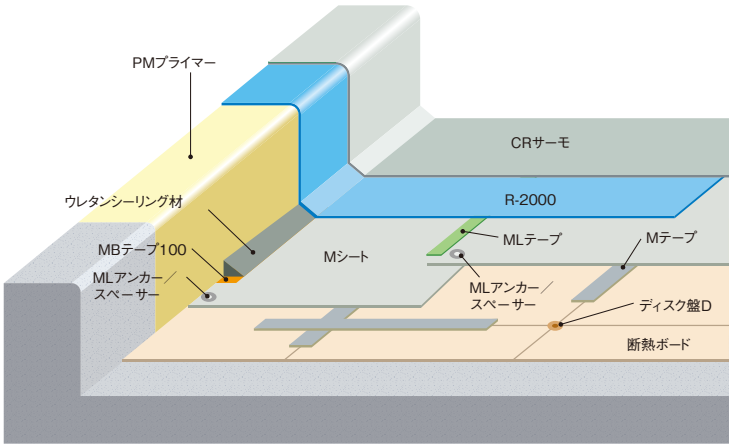
MBテープ100



・Mシート端末処理用
・自着層付きブチルゴムテープ
・ブリードしにくく、ウレタンが密着します。
・荷姿：(厚み0.5mm×幅100mm×長さ20m) ×8巻/箱
・水濡れ厳禁

機械的固定屋根防水工法

外断熱・機械的固定AIM工法

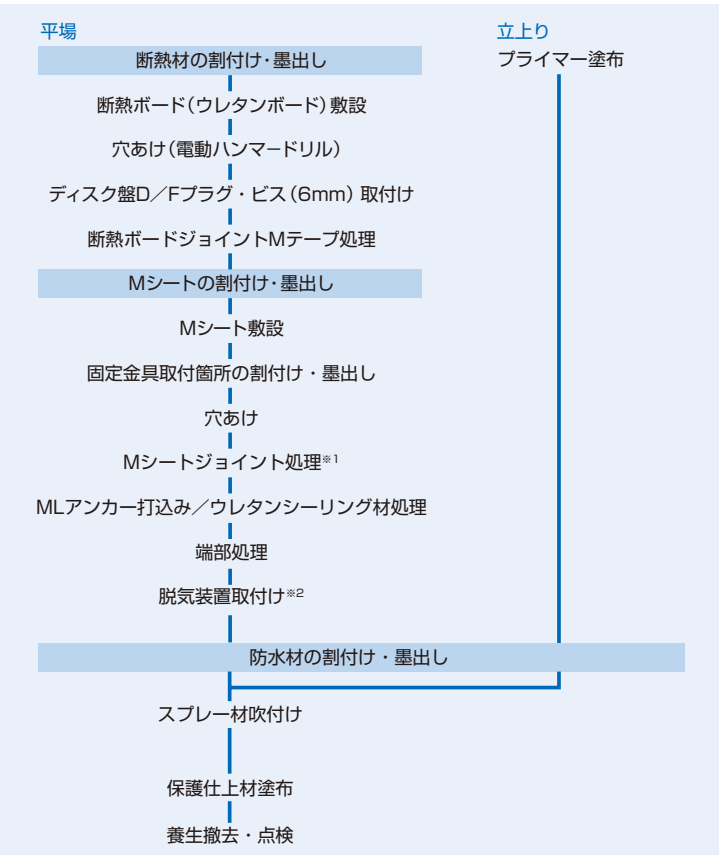


特長

- 断熱ボードを固定金具で固定する浮かし張り外断熱工法で、建物の省エネ、長寿命化を実現します。改修の場合でも既設の防水層を撤去せずに施工できるので、工期の短縮と産業廃棄物の低減に役立ちます。
- 外断熱工法は内断熱工法と比べ、外部の温度変化を断熱材が遮断するので、以下のような特長があります。
  - 躯体の熱による伸縮を抑え、建物全体を長期に保全します。
  - 建物内部の結露を抑えます。
  - 建物の蓄熱を防ぎ、夜間の室内からの放熱を減少させます。

施工フロー

AIM-RR30CRサーモ-U300工法
立上りRR20CRサーモ工法



※1：Mシートジョイント処理：MシートのジョイントにMLテープを全面に貼付後、Mシート短辺のジョイントにクロス#5140Nを貼付し、立上り用防水材で目止め処理してください。Mシート長辺のジョイントおよび端部は、必要に応じて立上り用防水材で目止め処理してください。

※2：脱気装置の取付けは、躯体に固定可能なアンカー（MLアンカーなど）を選定し、固定してください。
脱気装置には、あらかじめアンカーが入る穴をあけてください。
Mシート上に取り付ける場合は、Mシートに直径30mm程度の穴をくり抜いてください。

断熱ボードの性状

	ウレタンボード 硬質ウレタンフォーム （表裏層： ガラス不織布特殊面材）	Sボード 押出法ポリスチレンフォーム （スキンボード） ※厚み20mmを除く
種類	JIS A 9521:2017 硬質ウレタン フォーム 断熱材3種1号	JIS A 9521:2017 押出法ポリスチ レンフォーム 断熱材3種bA
密度（kg/m^3）	35	25
熱伝導率（W/m・K）	0.023	0.028
圧縮強さ（N/cm^2）	15	20
吸水量（g/100cm^2）	3.0	0.01以下
熱貫流率（W/m^{2}k） 断熱ボード 厚み30mmの場合	0.77	0.93
熱抵抗値（m^{2}k/W） 断熱ボード 厚み30mmの場合	1.30	1.07

仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m²)	備 考
AIM-RR20CRサーモ-U300	1 ウレタンボード30t Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D※2 M テープ 2 Mシート MLアンカー／スペーサー※3 MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRサーモ	1.8枚 2.0箇所 2.8m 1.06m 3.2箇所 1.06m 0.06m — 2.0 0.2	非歩行用仕様 防水層厚み平均 2mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚みの場合)
AIM-RR20CRサーモ-S300	1 Sボード30t Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D※2 Mテープ 2 Mシート MLアンカー／スペーサー※3 MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRサーモ	1.2枚 1.4箇所 2.3m 1.06m 3.2箇所 1.06m 0.06m — 2.0 0.2	非歩行用仕様 防水層厚み平均 2mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚みの場合)
AIM-RR30CRサーモ-U300	1 ウレタンボード30t Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D※2 M テープ 2 Mシート MLアンカー／スペーサー※3 MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRサーモ	1.8枚 2.0箇所 2.8m 1.06m 3.2箇所 1.06m 0.06m — 3.0 0.2	非歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚みの場合)
AIM-RR30CRサーモ-S300	1 Sボード30t Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D※2 Mテープ 2 Mシート MLアンカー／スペーサー※3 MLテープ クロス#5140N／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRサーモ	1.2枚 1.4箇所 2.3m 1.06m 3.2箇所 1.06m 0.06m — 3.0 0.2	非歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚みの場合)
立上り-RR20CRサーモ	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRサーモ	0.2 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※2：Fプラグ・ビス（6mm）／ディスク盤Dは、下地が新設コンクリートや既存ウレタン防水などの平滑な下地で強い風が吹かない地域の場合は、両面ブチル粘着テープ#718に代えることができます。詳細は15ページをご参照ください。
※3：スペーサーは作業性改善の資材ですので、必要に応じて省くことができます。詳細は15ページをご参照ください。
・R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、AIM-RR30CRサーモ-U300工法でF-1000に変更する場合、工法名はAIM-FF30CRサーモ-U300工法となります。
・「サラセーヌ製品」の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご覧ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。例えば、AIM-RR20CRサーモ工法でTJフッ素サーモに変更する場合、工法名はAIM-RR20TJフッ素サーモ工法となります。

断熱ボードの種類

・断熱ボードの詳細は製品紹介（15ページ）をご覧ください。
・選択された断熱ボードの種類と厚みにより工法名は次のようになります。
ウレタンボード、厚み35mmの場合：AIM-RR30CRサーモ-U350
Sボード、厚み40mmの場合：AIM-RR30CRサーモ-S400
・防火地域および準防火地域での断熱材の厚みは建築基準法により50mm以内とします。

保護仕上材

● 遮熱用保護仕上材は、遮熱ライトグレー、遮熱ライトグリーン、遮熱ベージュの3色のみです。

標準色

遮熱ライトグレー

遮熱ライトグリーン

遮熱ベージュ

● この色見本は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。

メンテナンス

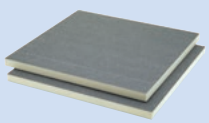
● 保護仕上材CRサーモは、5年ごとに塗り替えてください。ただし、海岸地域、工業地域などの環境条件の厳しい地域では、より短期間での塗り替えとなります。

製品紹介

AIM工法関連防水資材

Mシート、MLテープ、クロス#5140N、MBテープについては、メカロックML工法ページを参照してください。

ウレタンボード

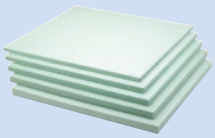


- 硬質ウレタンフォーム
- 気泡の中に熱伝導率の小さい発泡ガスを含んだ独立気泡構造により、優れた断熱効果を発揮します。
- 寸法：縦605mm×横910mm（1枚単位で出荷可能）
- 厚み：

品種	厚み
25t	25mm
30t	30mm
35t	35mm
40t	40mm
50t	50mm

- 注意事項：
  ①火気注意
  ②水濡れ厳禁
  ③落下厳禁

Sボード

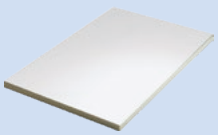


- 押出法ポリスチレンフォーム
- 独立した無数の気泡で構成されるため、断熱効果を発揮します。
- 寸法：縦910mm×横910mm（1枚単位で出荷可能）
- 厚み：

品種	厚み
20t	20mm
M2-R 25t	25mm
M2-R 30t	30mm
M2-R 35t	35mm
M2-R 40t	40mm
M2-R 50t	50mm

- 注意事項：
  ①火気注意
  ②紫外線注意
  ③有機溶剤注意

ウレタンボードAL

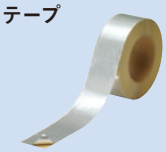


- 硬質ウレタンフォーム（両面：アルミ箔クラフト紙積層紙）
- 両面にアルミ箔面材付のため、防湿性に優れます。
- 寸法：1,000mm×1,800mm
- 厚み：

品種	厚み
25t	25mm
30t	30mm
35t	35mm
40t	40mm
50t	50mm

注意事項：
① 火気注意
② 水濡れ厳禁
③ 落下厳禁

Mテープ



- 自着層付きアルミテープ
- 断熱ボード・ジョイント処理用
- 荷姿：（幅50mm×長さ50m）×6巻／箱
- 注意事項：
  ①ジョイント部全面に貼ってください。
  ②水濡れ厳禁

両面ブチル粘着テープ#718

- 断熱ボード仮固定用両面テープ（両面自着層テープ）
- 荷姿：（幅50mm×長さ15m）×5巻／箱
- 接着面が乾燥していることを確認し、断熱ボードに対し、1〜2本かかるように下地へ貼り付けてください。
- 注意事項：
  水濡れ厳禁

ディスク盤D

- 断熱ボード仮固定用ステンレス製ディスク盤
- 荷姿：100枚／箱
- 寸法：直径：60mmφ、穴径：6mmφ、厚み：0.5mm

Fプラグ・ビス（6mm）

- ディスク盤D専用ステンレス皿ビス／ナイロン製プラグ
- 荷姿：100本／箱
- 寸法：

	6H60	6H90
ドリル径	6mmφ	6mmφ
プラグ長	60mm	73mm
ビス長	63mm	90mm

- ボード固定

最大厚み	30mm	55mm

MLアンカー 40／60／70／80

- Mシート用固定金具
- 耐食アルミ
- 荷姿：500本／箱
- 寸法：

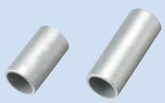
	40	60	70	80
アンカー長	40mm	60mm	70mm	80mm
ドリル径	8~8.5mmφ	8~8.5mmφ	8~8.5mmφ	8~8.5mmφ

- ボード固定

最大厚み	不可	30mm	40mm	50mm

- 注意事項：
  MLアンカーは躯体に30mm以上深く入るものを選択してください。

スペーサー 20／30



- 荷姿：500本／箱
- 寸法：20　内径10mmφ×長さ20mm
  30　内径10mmφ×長さ30mm
- MLアンカーに挿入して使用することにより、打ち込みすぎを防止します。
- 注意事項：
  スペーサーは断熱材厚みに合わせて選択してください。

ディスク盤S

- 高断熱仕様対応、Mシート固定用ステンレス製ディスク盤
- 荷姿：100枚／箱
- 寸法：直径：35mmφ、穴径：8mmφ、厚み：1mm

Fプラグ・ビス（8mm）

- ディスク盤S専用ステンレス皿ビス／ナイロン製プラグ
- 荷姿：100本／箱
- 寸法：

	8H100	8H120	8H150
ドリル径	8~8.5mmφ	8~8.5mmφ	8~8.5mmφ
プラグ長	100mm	120mm	150mm
ビス長	100mm	120mm	155mm

- ボード固定

最大厚み	60mm	80mm	110mm

- 注意事項：
  Fプラグ・ビスは躯体に40mm以上深く入るものを選定してください。

断熱性試験

木箱上部にAIM工法（Sボード厚み30mm、遮熱用保護仕上材）とAV工法（通気緩衝工法、アクリルウレタン系保護仕上材）を設置し、防水層の表層、下層および木箱内部の上部から100mmの位置で温度を測定しました。
（熱源：200Wランプ、1時間照射）

温度（℃）	AIM工法	AV工法
表層温度	64	68
下層温度	26	48
木箱内部温度	23	27

固定金具の取付方法

建築基準法施行令第82条の5の規定に基づいて、以下の計算式により耐風力を求め、固定金具の割付本数を算出する必要があります。

●対象建物にかかる風圧力

風圧力N/m²：W＝速度圧N/m²：$\bar{q}$ ×ピーク風力係数：$\hat{C}_f$

平均速度圧：$\bar{q}$ ＝0.6Er²×Vo²

Er：　平均風速の高さ方向の分布を表す係数。
平成12年建設省告示第1454号第1第2項に規定するErの数値。ただし、地表面粗度区分がⅣの場合においては、地表面粗度区分がⅢの場合における数値を用いるものとする。

Vo：　標準平均風速
平成12年建設省告示第1454号第2に規定する基準風速の数値。

$\hat{C}_f$：　ピーク風力係数
風洞試験によって定める場合のほか、平成12年建設省告示第1458号第2項に規定する数値。

●必要な耐風圧力

必要な耐風圧力は、一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍の安全率をみています。

必要な耐風圧力N/m²≧風圧力N/m²：W×200%（安全率）

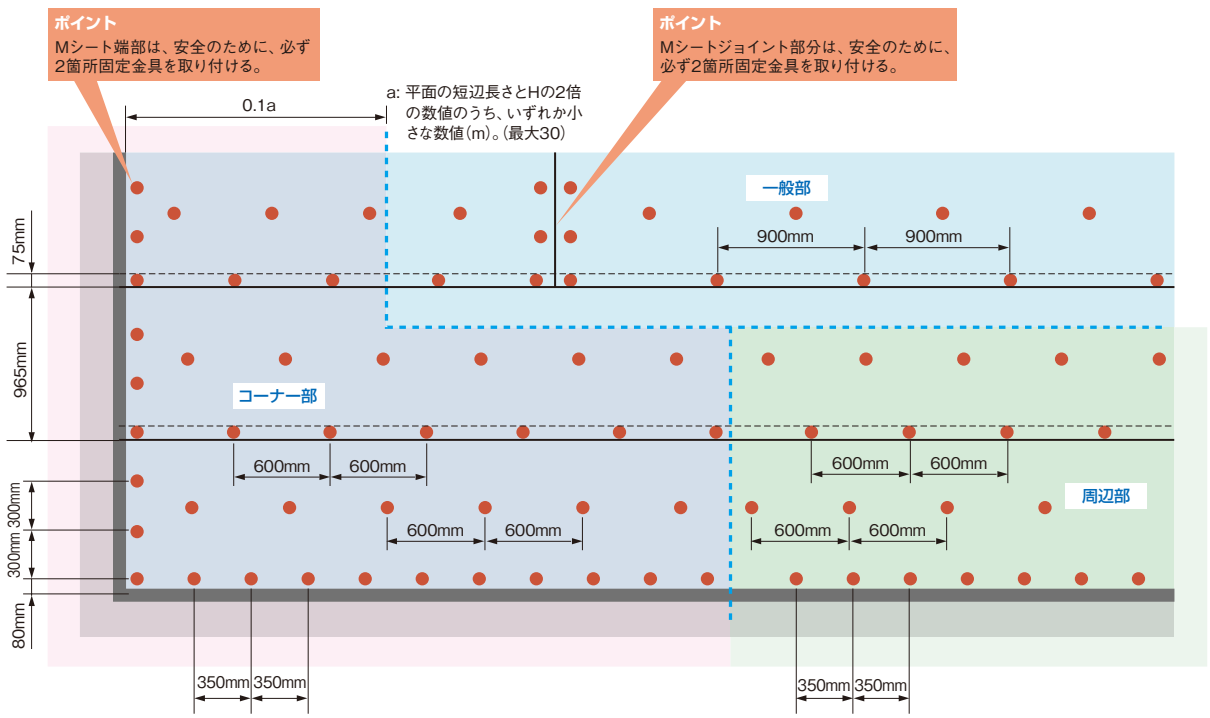
施工面（屋上）は、一般部、周辺部、コーナー部に分けられます。それぞれの係数に応じて、m²当たりの使用固定金具数を算出してください。

●固定金具の割付図（代表例）

東京郊外、樹木・低層建築物などが散在する平坦地にある高さ15m、横15m四方の陸屋根の場合。

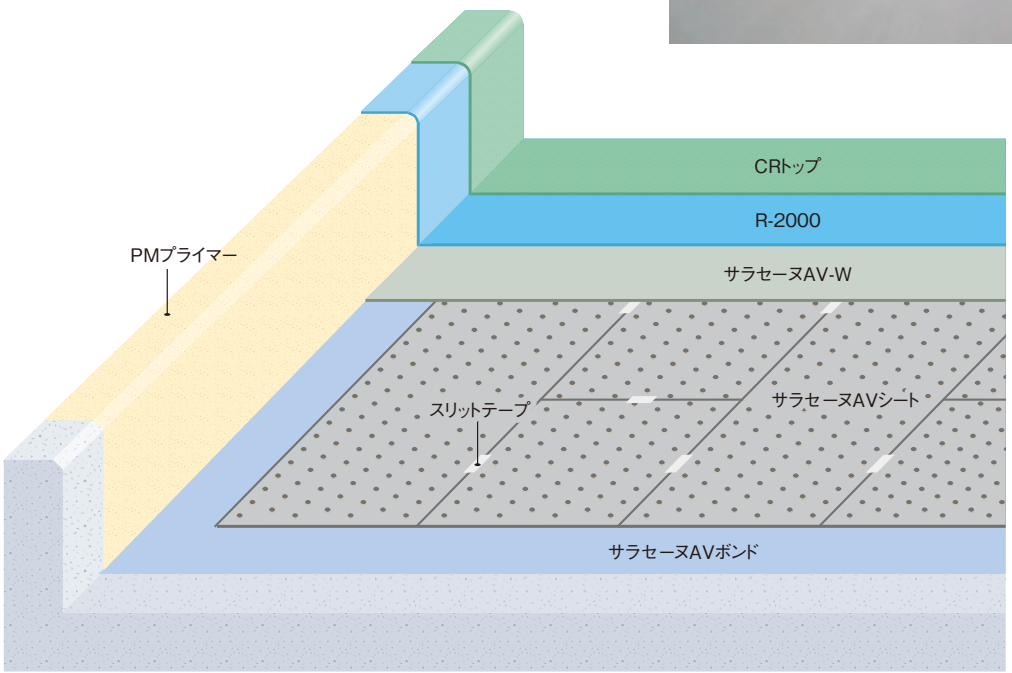
・詳細は、別紙資料「固定金具割付方法」を確認してください。

・お問い合わせの際は、「下地種類」、「地方の区分」、「地表面粗度区分」、「施工面寸法（高さ、幅）」、「現場下地における固定金具の引き抜き強度」などの情報をご用意ください。



一般屋根防水工法

通気緩衝AV工法



特長

通気効果と緩衝効果を併せ持つAVシートの上にウレタン塗膜防水を塗り重ねた、準密着・絶縁式の複合塗膜防水工法です。

- 防水層が下地と部分密着しているため、優れた安定性と耐久性を発揮します。
- 通気緩衝層が下地の水分による圧力を逃がすので、ふくれを防止するとともに下地クラックのゼロスパンテンションによる防水層の破断を防ぎます。
- 下地残留水分が多い改修防水に適しています。既設の押え層を撤去しなくても施工できます。

抜群の通気緩衝効果を発揮する、サラセーヌAVシート

●ポリエステルフィラメントの長繊維不織布に、千鳥格子状に孔を空けた通気緩衝シートです。
●抗張積が大きく、バランスのよい無方向性なので、優れた緩衝効果を発揮します。
●耐食性、耐溶剤性、耐薬品性、寸法安定性に優れています。
●施工時に局所的な歪み、目ずれが起こらず、張付け作業が容易です。

仕様

一般仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m²)	備 考
AV-RR50CR	1 サラセーヌAVボンド サラセーヌAVシート　または　AVシートブルー 2 サラセーヌAV-W 3 R-2000 4 CRトップ	0.25 — 1.2 2.0 0.2	防水層厚み平均 2.5mm
立上り-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	防水層厚み平均 2mm

環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m²)	備 考
AV-RR50TJ	1 サラセーヌRWボンド サラセーヌAVシート　または　AVシートブルー 2 サラセーヌEZ目止め 3 R-2000 4 TJトップ	0.25 — 1.2 2.0 0.2	防水層厚み平均 2.5mm
立上り-RR20TJ	1 PW-100プライマー 2 R-2000 3 TJトップ	0.25 2.0 0.2	防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

・R-2000(JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形)は、F-1000(JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形)に変更可能です。例えば、AV-RR50TJ工法でF-1000に変更する場合、工法名はAV-FF50TJ工法となります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、39～40ページをご覧ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。例えば、AV-RR50CR工法でRMフッ素に変更する場合、工法名はAV-RR50RMF工法となります。

・「サラセーヌ製品」の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご覧ください。

SRステンレスベント

・SUS304ステンレス平場用脱気筒。逆流防止弁付き。

・台座表面は特殊加工しているため、プライマーが不要です。

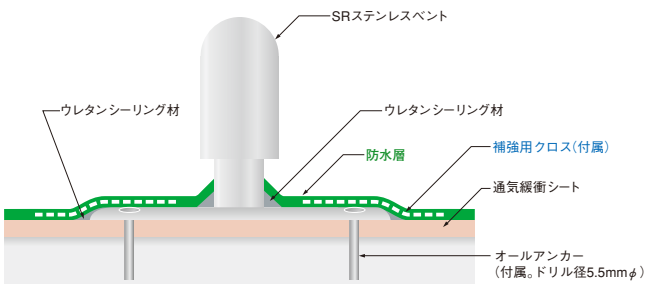
・付属の補強用クロスを使用することにより、台座端部の防水層厚みが確保されます。

・50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。

寸　法

高さ／台座径	200mm／200mm φ
筒部径	外筒70mm、内筒50mm

SRステンレスベント納まり図



＊通気緩衝QV工法の場合は「QVシート」、機械的固定メカロックML工法の場合は「Mシート」を、直径30mm程度切り抜き、通気を確保してください。

SRパラベント

・SUS304ステンレス立上り用脱気盤。逆流防止弁付き。

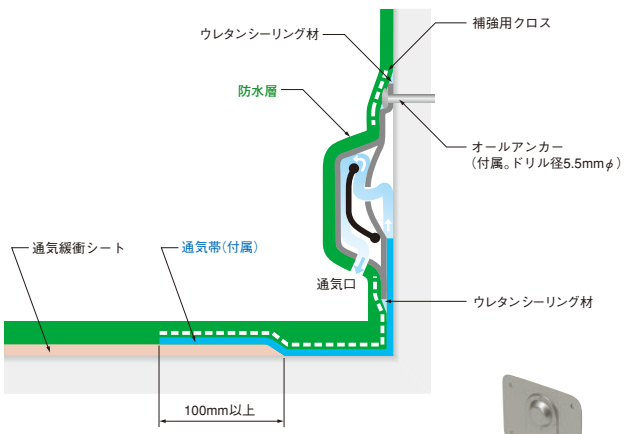
・脱気盤表面は特殊加工しているため、プライマーが不要です。

・10mに1箇所の割合で取り付けてください。

寸　法

高さ	100mm
幅	130mm

SRパラベント納まり図

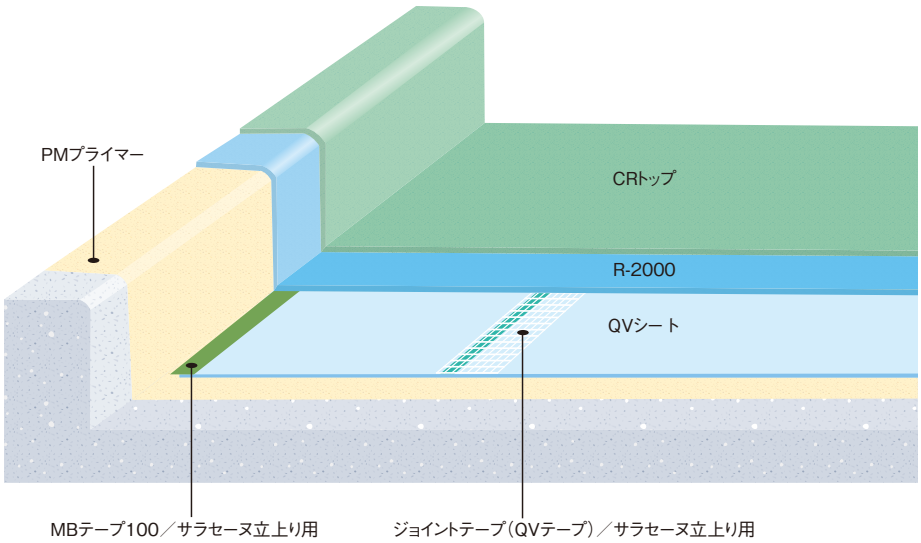


＊付属の通気帯の長さは約500mmです。

＊通気緩衝QV工法の場合は「QVシート」、機械的固定メカロックML工法の場合は「Mシート」の下に通気帯を挿入してください。

一般屋根防水工法

自着層タイプ通気緩衝QV工法



特長

通気緩衝QV工法は、特殊なアスファルト系粘着層付きの通気緩衝シートをプライマーが硬化・乾燥した後の下地に直接張り付けることができる通気緩衝工法です。

仕様

工法名	工 程	使用量（kg/m²）	備 考
QV-RR20CR	1 PMプライマー 2 QVシート ジョイントテープ／サラセーヌ立上り用 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRトップ	0.2 1.06m 1.06m — 2.0 0.2	歩行用仕様 防水層厚み平均 2mm
QV-RR30CR	1 PMプライマー 2 QVシート ジョイントテープ／サラセーヌ立上り用 端末処理用テープ MBテープ100 3 R-2000 4 CRトップ	0.2 1.06m 1.06m — 3.0 0.2	歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

※事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。

・QVシートの粘着性を阻害する恐れがあるため、凹凸のある下地は、予め平滑に仕上げてください。
・下地が濡れていないことを確認してください。
・QVシートの端末処理は、MBテープ100をご使用ください。

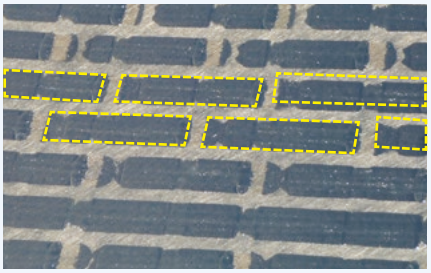
・R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、QV-RR20CR工法でF-1000に変更する場合、工法名はQV-FF20CR工法となります。
・サラセーヌ立上り用は、「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌEZ立上り用」などに変更可能です。
・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、39～40ページをご覧ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。例えば、QV-RR20CR工法でRMフッ素に変更する場合、工法名はQV-RR20RMF工法となります。
・「サラセーヌ製品」の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご覧ください。

ご採用の前に・・・

通気緩衝QV工法は、保護コンクリートおよびウレタン防水層の下地を対象としています。
事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。

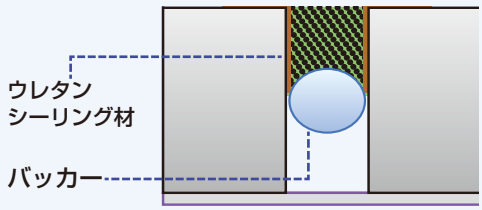
下地の不陸を平滑にしてください！

下地の不陸による凹凸が目出つことがあります。

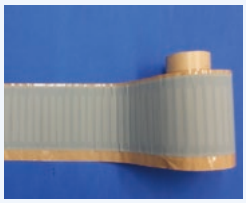


粘着層のストライプ形が目立つことがあります。

伸縮目地を平滑に仕上げてください！



伸縮目地



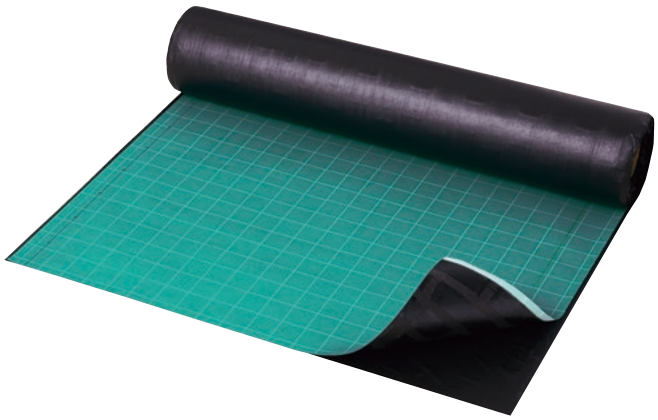
目地処理用テープ
「メジキーパーA」も有効です。
（製造元：株式会社秀カンパニー）

目地段差に注意！

転圧は10kg以上の荷重がかかる転圧ローラーを使用してください！

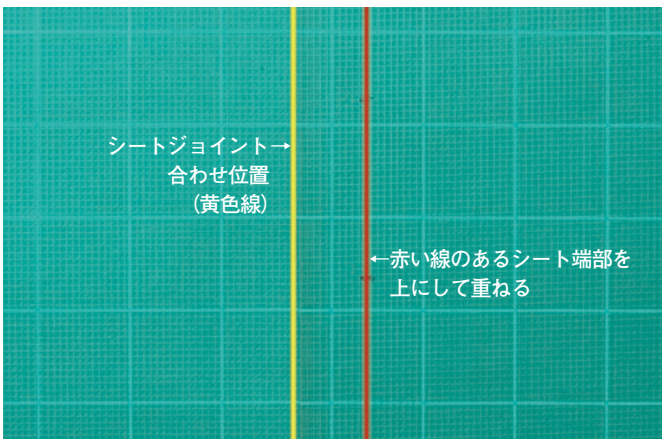
自着層タイプ通気緩衝　— QVシート —

QVシートの裏面には、下地と強力に粘着させるため特殊なアスファルト系の粘着層を採用しています。
粘着層のない溝を下地の水分が通気する仕組みです。
さらにQVシート表面には、特殊なフィルムが施してあるため、突然の降雨などにも優れた遮水性を発揮します。
また、QVシートにはウレタン防水材を直接塗布することができます。



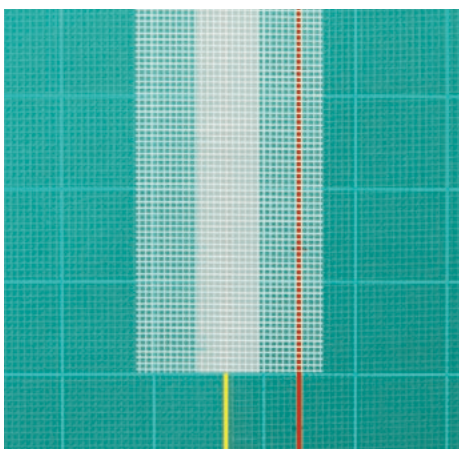
シート同士の重ね張りでジョイント部も一体化

QVシートは、ジョイント部（長辺）を重ね合わせることにより、ジョイント部が一体化し防水機能を高めます。
シート表面の黄色線があるシートジョイントを下に、赤色線があるシートジョイントを上にして重ね、上から重ねるシート端部を黄色の線に合わせて張り付けます。
重なり合う端部のシートは段差調整加工してあるので、シート同士の高さを合わせやすく、シームレスな仕上りになります。
ジョイントを重ねることにより、シート端部の反りあがりを抑制します。
短辺部のジョイント処理は、貼り付けたテープに浮き・口開きがないことを確認し、立上り用防水材をかすれや塗り残しがないように処置してください。
⚠適切に処理されていないジョイント部または端部では、降雨や夜露などの水分がシート裏面に侵入するおそれがあります。



確実なシートジョイント処理

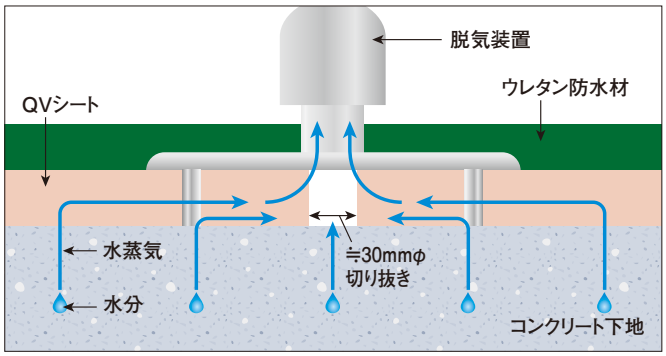
QVシートジョイント処理用テープ「ジョイントテープ（QVテープ）」は、ジョイント部分を補強するため、特殊加工したポリエステルテープと補強用クロスを一体化した構成で、補強用クロスの部分にウレタン防水材が部分密着し、ジョイント挙動に強い構造になっています。
ハサミで容易に裁断可能で、青い剥離紙フィルムを剥がしながら貼ります。



下地の水分を逃し、脱気が可能

下地のコンクリート内に滞留する水分は、気温が上がると気化し防水層にふくれを生じさせることがあります。QVシートは、ストライプ状の粘着層以外は通気させる溝になっているため、気化した水蒸気の圧力を拡散させ、局部的なふくれを防止する効果を発揮します。
シート内に拡散した水蒸気圧力は、脱気筒（ステンレスベント）より脱けていきます。

※脱気筒を設置の際は、QVシート裏面の粘着層のない溝の部分を直径30mm程度切り抜き、その上に脱気筒を設置してください。



下地への強い粘着性を発揮

QVシートの裏面にあるストライプ状の粘着層は、転圧ローラーを使用することで確実な粘着性を発揮します。

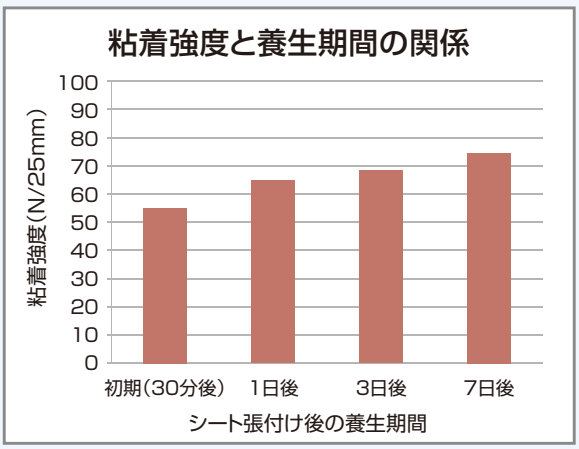
荷重が10kg以上掛けられる転圧ローラーをおすすめします。
下地の不陸（凹凸）によっては著しく粘着力が低下することがあります。
※下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。

QVシート粘着性評価

■ 試験方法
JIS K 6854「180度剥離試験」に準拠

■ 試験体
標準条件（温度23℃、湿度50%）の室内でプライマー塗布・硬化後のスレート板にQVシートを張り付けた試験体。
※張付けは、転圧ローラーを使用した。

■ 試験結果
QVシートは、十分な粘着性を有する。



上図の値は室内試験による測定値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

自着層付き通気緩衝シート

自着層付きQVシート

無孔通気緩衝シート

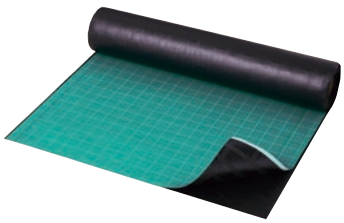
- 改質アスファルト／ポリエステルフィルム
- 脱気筒を取り付ける場合は、50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。脱気筒下は直径30mm程度切り抜いてください。
- 荷姿：(幅1.04m×長さ15m) ×1巻
- シートの表層をテープ補強した商品が含まれる場合がありますが、品質に問題ありません

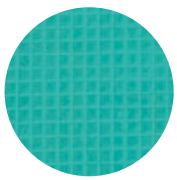
性状・物性

シート重量（g/m²）	1,180
シート厚み（mm）	粘着箇所：1.4　通気箇所：1.0
引張強さ（N/cm）	縦：218　横：183
伸び率（%）	縦：4.0　横：4.0
引裂強さ（N）	縦：42　横：49
通気量（ml/min）	600

注意事項

① 水濡れ厳禁
② 横積み厳禁





長辺部のシートジョイントは、黄色線側を下にして、赤線側を黄色線に合わせて重ねてください。
短辺部のシートジョイントは、2mm程度離してください。

テープ類

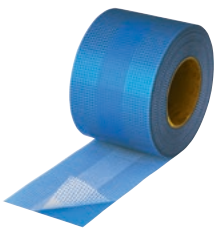
ジョイントテープ（QVテープ）

QVシートジョイント処理用テープ

- ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m) ×4巻／箱
- QVシートジョイントに全面張付けし、立上り用防水材などでシゴキ塗りしてください。

注意事項

水濡れ厳禁



MBテープ100

QVシートおよびMシート端末処理用

- 自着層付きブチルゴムテープ
- 成分がブリードしにくく、ウレタンが密着します。
- 荷姿：(厚み0.5mm、幅100mm×長さ20m) ×8巻／箱
- 立上り用防水材などでシゴキ塗りしてください。

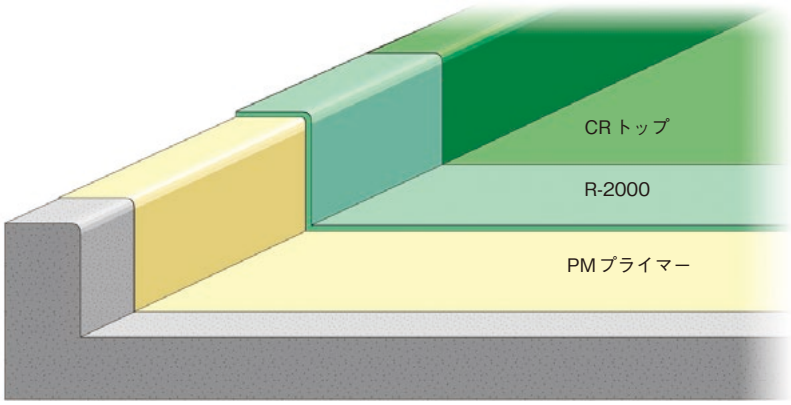
注意事項

水濡れ厳禁

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

一般屋根防水工法

密着SD工法



特長

- 上市以来の実績に支えられた、スタンダードな密着工法です。
- 機械的物性や耐候性に優れ、下地の挙動に良く追従し、躯体を保護します。
- 小面積のベランダや庇から大面積の屋上まで、幅広くご利用いただけます。

仕様

工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
SD-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000※2 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	歩行用仕様 防水層厚み平均 2mm
SD-RR30CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000※2 3 CRトップ	0.2 3.0 0.2	歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-RR20CR	1 PMプライマー※1 2 R-2000※2 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

※2：R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）、またはV-3000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、SD-RR20CR工法で変更する場合、工法名はそれぞれ、F-1000ではSD-FF20CR工法、V-3000ではSD-VV20CR工法となります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。工法名は、例えば、SD-RR20CR工法でRMフッ素に変更する場合、工法名はSD-RR20RMF工法となります。

リムスプレー 堅鎧（タフガイ）システム

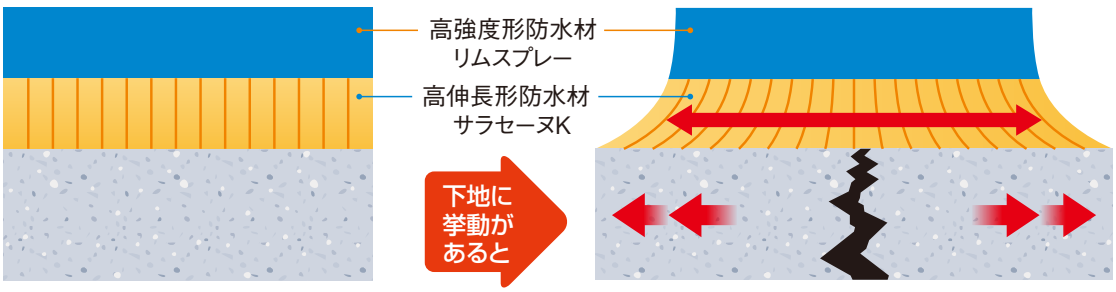
一般屋根防水工法

複合防水密着工法
（手塗りウレタン防水材＋超速硬化型ウレタン吹付け材）

特長

- 高強度形防水材「リムスプレー」と高伸長形防水材「サラセーヌ」を組み合わせることで、通気緩衝工法に匹敵する下地追従性を実現します。

驚きの下地ひび割れ追従性能



高強度形防水材と高伸長形防水材の
組み合わせが、下地のひび割れに追従します。

仕様

工法名	工程	使用量（kg/m²）	備考
リムスプレータフガイ SD-RK30CR	1　PMプライマー※1 2　サラセーヌK※2 3　R-2000※3 4　CRトップ	0.2 1.3 2.0 0.2	歩行用仕様 防水層厚み平均 3mm
リムスプレータフガイ SD-R立上り25CR	1　PMプライマー※1 2　サラセーヌ立上り用※2 3　R-2000※3 4　CRトップ	0.2 0.7 2.0 0.2	立上り仕様 防水層厚み平均 2.5mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

※2：ウレタン塗膜防水材「サラセーヌK」および「サラセーヌ立上り用」は、サラセーヌ総合カタログにある防水材ラインナップに変更できます。詳細はサラセーヌ総合カタログをご参照ください。

※3：R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）、V-3000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。変更する場合、工法名はそれぞれ、リムスプレータフガイSD-FK30CR、リムスプレータフガイSD-VK30CRとなります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。
RMフッ素に変更する場合、工法名はリムスプレータフガイSD-RK30RMF工法となります。

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

床工法

YK工法
KD工法
HY工法

一般床YK工法

特長

- 歩行感に優れています。弾性ウレタンのため歩行感がソフトで、滑りにくいエンボス仕上げが可能です。
- 靴音を低減できます。
- シームレスなので水密性に優れます。またクラックに追従し、防水性に優れています。

仕様

工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
YK-FF15CR	1 PMプライマー※1 2 F-1000※2 3 CRトップ	0.2 1.5 0.2	床・立上り仕様 防水層厚み平均 1.5mm
YK-FF20CR	1 PMプライマー※1 2 F-1000※2 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	床・立上り高品質仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

※2：F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）は、R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形、V-3000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、YK-FF20CR工法で変更する場合、工法名はそれぞれ、R-2000ではYK-RR20CR工法、V-3000ではYK-VV20CR工法となります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

階段室床KD工法　※鉄骨階段の場合も、KD工法をお勧めします。

仕様

工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
KD-FF15CR	1 PMプライマー※1 2 F-1000※2 3 CRトップ	0.2 1.5 0.2	床・立上り仕様 防水層厚み平均 1.5mm
KD-FF20CR	1 PMプライマー※1 2 F-1000※2 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	床・立上り高品質仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

※2：F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）は、R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形、V-3000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、KD-FF20CR工法で変更する場合、工法名はそれぞれ、R-2000ではKD-RR20CR工法、V-3000ではKD-VV20CR工法となります。

・鉄骨階段の場合、金属下地用プライマーとしてサンPC-U2または防錆剤入りPE-670プライマーをご使用ください。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

・独立行政法人都市再生機構・階段室床防水で採用された工法および使用材料については、別途ご相談ください。

高荷重床HY工法

特長

- 高硬度ウレタンのため、耐衝撃性・耐摩耗性に優れます。
- 倉庫の床やフォークリフト走行場所など、荷重がかかる床に適しています。
- 耐薬品性に優れています。

仕様

工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
HY-VV20CR	1 PMプライマー※1 2 V-3000 3 CRトップ	0.2 2.0 0.2	床・立上り仕様（倉庫床など） 防水層厚み平均 2mm
HY-VV30CR	1 PMプライマー※1 2 V-3000 3 CRトップ	0.2 3.0 0.2	床・立上り高品質仕様（工場床など） 防水層厚み平均 3mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

競技場床工法

GSG工法
GS工法

観覧席GSG工法

仕様

工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
GSG-VV30CR半艶	1 PMプライマー※1 2 V-3000 3 V-3000／AD骨材#10※2 4 CRトップ半艶	0.2 2.0 1.0／0.4※2 0.2	観覧席用仕様（防滑） 平場・蹴込み仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-VV20CR半艶	1 PMプライマー※1 2 V-3000 3 CRトップ半艶	0.2 2.0 0.2	GSG-VV30CR半艶用 立上り仕様 防水層厚み平均 2mm
GSG-FF30CR半艶	1 PMプライマー※1 2 F-1000 3 F-1000／AD骨材#10※2 4 CRトップ半艶	0.2 2.0 1.0／0.4※2 0.2	観覧席用仕様（防滑） 平場・蹴込み仕様 防水層厚み平均3mm
立上り-FF20CR半艶	1 PMプライマー※1 2 F-1000 3 CRトップ半艶	0.2 2.0 0.2	GSG-FF30CR半艶用 立上り仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※2：GSG工法の骨材は硅砂5号～8号（0.4～0.5kg/m²）に変更可能です。
・F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）は、R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）に変更可能です。
例えば、GSG-FF30CR半艶工法でR-2000に変更する場合、工法名はGSG-RR30CR半艶工法となります。
・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

コンコースGS工法

仕様

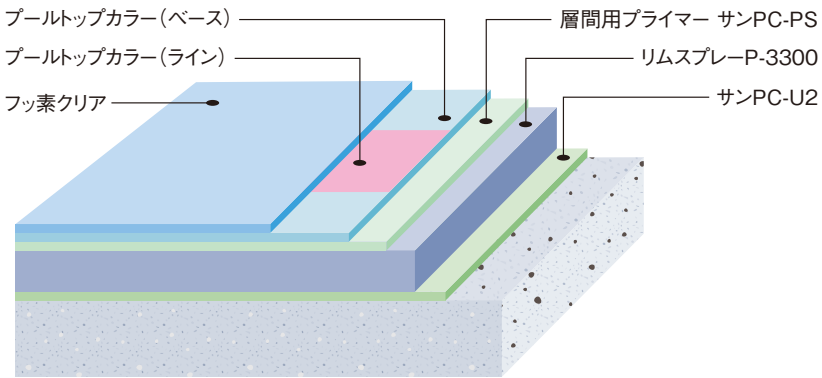
工法名	工程	使用量(kg/m²)	備考
GS-FF20CR半艶	1 PMプライマー※1 2 F-1000 3 CRトップ半艶	0.2 2.0 0.2	コンコース仕様 防水層厚み平均 2mm
GS-FF30CR半艶	1 PMプライマー※1 2 F-1000 3 CRトップ半艶	0.2 3.0 0.2	コンコース仕様 防水層厚み平均 3mm
立上り-FF20CR半艶	1 PMプライマー※1 2 F-1000 3 CRトップ半艶	0.2 2.0 0.2	コンコース用立上り・巾木仕様 防水層厚み平均 2mm

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
・F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）は、R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）に変更可能です。
例えば、GS-FF30CR半艶工法でR-2000に変更する場合、工法名はGS-RR30CR半艶工法となります。
・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。

プール工法

RP-PP工法

プール工法の施工は、より良い品質確保のため、事前にAGCポリマー建材(株) の施工管理講習を受ける必要があります。



特長

- 「リムスプレー プール工法」は「フッ素クリア」の高い耐薬品性と「P-3300」の優れた機械的強度に加え、他の高強度樹脂にはない弾性(伸び)を有しています。コンクリート劣化の要因となる塩化物イオン・炭酸ガス・酸素・水蒸気を遮蔽し、高い耐久性を持つ防水被覆層を形成します。
- (社)日本水道協会規格JWWA K 143:2004「水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法」規格試験に適合。

仕様

代表工法

工法名	工程	使用量(kg/m²)
RP-PP22フッ素工法	1 サンPC-U2※1	0.2
	2 リムスプレーP-3300	2.2
	3 層間用プライマー サンPC-PS	0.1
	4 プールトップカラー(ベース)	0.2
	プールトップカラー(ライン)	0.3(オプション)
	5 フッ素クリア	0.15

※1:下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
・オーバーフロー部などの軽粗面仕様についてはお問い合わせください。
・リムトナーはホワイトベースをご使用ください。受注生産品となりますので、納期はお問い合わせください。
・プールトップカラー、フッ素クリアはともに希釈率10%が標準希釈量となります。また、フッ素クリア希釈剤には春秋用、夏用、冬用があります。

保護仕上材

標準色	アクアマリン	ターコイズ	ホワイト	コバルト	レッドオーカー
日塗工色見本帳・色票番号	69-70L近似色	59-70L近似色	N-85近似色	75-30P近似色	07-30L近似色
色見本					

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・特注色
　＊標準色以外の特注色は、日塗工色見本帳の色票番号でご注文ください。
　＊色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合もあります。予めご了承ください。
　＊納期はお問い合わせください。

注意事項

・ウォータースライダーおよびプールサイド、室内温水プールなどについては、別途弊社までご相談ください。温泉プールは適用不可です。
・施工の際は、施工対象部位の下地の状況をよく確認し、適切な下地処理を行ってください。

官公庁防水仕様

Close Up

公共建築改修工事標準仕様書に高強度形（超速硬化吹付けタイプ）が追加

公共建築改修工事標準仕様相当工法（令和4年版）

仕 様	工法名	工 程	使用量（kg/m²）
QV-X-1H工法	QV-X-1HR CRトップ仕上げ	1　PMプライマー 2　QVシート 　ジョイントテープ／立上り用防水材 　端末処理用テープ MBテープ 3　R-2000※1 4　CRトップ	0.2 1.06m 1.06m — 3.0 0.2
AV-X-1H工法	AV-X-1HR CRトップ仕上げ	1　サラセーヌAVボンド 　サラセーヌAVシートブルー※2 　スリットテープ 2　サラセーヌAV-W 3　R-2000※1 4　CRトップ	0.3 — — 1.3※3 3.0 0.2
X-2H工法	X-2HR CRトップ仕上げ	1　各種プライマー※4 2　R-2000※1 3　CRトップ	0.2※5 3.0 0.2
X-2H立上り工法	X-2H立上りR CRトップ仕上げ	1　各種プライマー※4 2　R-2000※1 3　CRトップ	0.2※5 2.0 0.2

※1：リムスプレーは、F-1000に変更できます。例えば、X-2HR工法でF-1000に変更する場合、工法名はX-2HF工法となります。
※2：サラセーヌAVシートブルーは、サラセーヌAVシートに変更可能です。
※3：サラセーヌAV-Wの塗布量は、サラセーヌAVシート使用時は1.4kg/m²となります。
※4：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※5：PMプライマーの標準塗布量を記載しております。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。
・補強用クロスについては45、49～50ページをご覧ください。
・通気緩衝AV工法の詳細は17～18ページ、自着層付き通気緩衝QV工法の詳細は19～23ページをご覧ください。
・各種サラセーヌ防水材の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）は以下のように改定され、公共建築改修工事標準仕様書に高強度形塗膜防水材吹き付け（超速硬化吹付けタイプ）が追加となりました。また、建築工事標準仕様書 JASS 8防水工事（2022）は以下のように改定されました。

公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）65ページ

3章　防水改修工事
3.6.2 材料
（1）主材料〈抜粋〉
塗膜を形成する材料はJIS A 6021（建築用塗膜防水材）の屋根用に基づき、種類はウレタンゴム系高伸長形、ウレタンゴム系高強度形とし、立上り部は立上り用又は共用を用いる。
なお、ウレタンゴム系高強度形は、JIS K 5600-1-1（塗料一般試験方法—第1部：通則—第1節：試験一般（条件及び方法））により、指触乾燥時間（23℃）が60秒以内のものとする。

建築工事標準仕様書 JASS 8 防水工事（2022） 306ページ

1.5 不定形材塗布・吹付け工事
1.5.5 塗膜防水工事　b. 材料　（2）塗膜防水材　2）製品形態による分類
③ 速硬化吹付けタイプ〈抜粋〉
2成分の一種であるが、専用の吹付け機器を使用し、短時間でゴム弾性のある塗膜を形成し、次の工程に移ることができる材料である。「超速硬化」の特徴は、解説表1.5.9に示す材料特性を有し、平場と立上りを同一材料で連続的に施工できることである。

解説表1.5.9　超速硬化吹付けタイプウレタンゴム系防水材の特徴

項目	特性	試験方法
指触乾燥時間（23℃）	60秒以内	JIS K 5600-1-1：1999 4.3.5 評価 a）指触乾燥

公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)

ウレタンゴム系高強度形塗膜防水の種別及び工程

種別	X-1H（絶縁工法）		X-2H（密着工法）	
工程	材料・工法	使用量(kg/m²)	材料・工法	使用量(kg/m²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系 高強度形塗膜防水材吹付け※5	3.0※3	ウレタンゴム系 高強度形塗膜防水材吹付け※5	3.0※3 (2.0) ※4
3	仕上塗料塗り※6	—	仕上塗料塗り※6	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
※2：L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
※3：表中のウレタンゴム系防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
※4：立上り部は全て、種別X-2Hとし、工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量塗は（　）内とする。
※5：吹付け作業が困難な部位の工法は、主材料の製造所の仕様による。
※6：仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

防水改修工法種類

改修工法 表3.1.1※1	既存防水工法	既存保護層および防水層の撤去・非撤去	新規防水工法の種別
P0X工法	P：保護アスファルト防水工法	0：保護層および防水層非撤去	X：ウレタンゴム系塗膜防水工法、X-1H工法、X-1工法
L4X工法	L：ウレタンゴム系塗膜防水工法	4：露出防水層非撤去	X：ウレタンゴム系塗膜防水工法、X-2H工法※2、X-2工法※2

※1：工法名の区分
○○○
- 新規防水工法の種別による区分
- 既存保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分
- 既存防水工法による区分

※2:L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、X-2工法の工程1を省略する。

既存防水層の処理施工方法

既存保護層などの撤去
・保護コンクリート、れんが、モルタル笠木などの撤去は、ハンドブレーカー（質量15kg以下）などを使用し、取合い部の仕上げ、構造体などに影響を及ぼさないように行う。
・平場の既存保護層を残し、改修用ドレンを設けない場合は、ルーフドレン端部から500mm程度まで保護コンクリートなどの既存保護層を四角形に撤去する。（※1）

既存防水層の撤去
・※1にて既存保護層を撤去した後のルーフドレン周囲は、既存下地に損傷を与えないように、ルーフドレン端部から300mm程度まで既存防水層を四角形に撤去する。
・既存ウレタン塗膜防水のルーフドレン周囲の既存防水層は、ルーフドレン端部から300mm程度まで、既存防水層を四角形に撤去する。

ルーフドレン回りの処理
・既存の防水層および保護層の撤去端部は、既存の防水層や保護層を含め、ポリマーセメントモルタルで、勾配1/2程度に仕上げる。

既存防水層の処理
・既存防水層の表面は、ゴミなどの異物を取り除き、水洗いを行う。
・既存ウレタン塗膜防水層の仕上げ塗装の除去は、デッキブラシなどで水洗いを行う。
・既存防水層の破断、穴あき箇所の浮き部分およびふくれ部分は切開し、ポリマーセメントモルタルで平滑に補修する。既存防水層の劣化によるチョーキング部は、デッキブラシなどで水洗いを行う。
・損傷箇所などを補修し、乾燥後、層間接着用プライマーを塗布する。

既存保護層の処理
・既存下地に付着している異物はケレンし、全面をデッキブラシなどで清掃を行う。
・コンクリート面などのひび割れ部は、ポリマーセメントモルタルなどで補修する。
・既存下地の欠損部および脆弱部の処理は、ポリマーセメントモルタルで平滑に補修する。支障のある浮き部は撤去し、ポリマーセメントモルタルで補修する。脆弱部は、ケレンなどのうえ、ポリマーセメントペーストなどで補修する。
・既存目地周囲の欠損部は、ポリマーセメントモルタルを充填するなどし、平たんに補修する。
・部分的に水はけ不良がある場合の処理は、ポリマーセメントモルタルで補修する。
・立上り部などの既存保護層および防水層撤去後の既存下地の処理は、下地に付着している防水層残存物などをケレンおよび清掃し、コンクリート面などのひび割れ部は、ポリマーセメントモルタルで補修する。ひび割れ幅が2mm以上の場合は、Uカットの上、ポリウレタン系シーリング材などを充填する。
・出隅は通りよく45°の面取りとし、入隅は通りよく直角とする。

下地処理
・ルーフドレン回り、配管回りおよび和風便器と防水層の取り合いは、ウレタンシーリング材で処理し、ルーフドレン、配管などの取り合いは、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りを行う。
・コンクリートの打ち継ぎ箇所および著しいひび割れ箇所は、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りを行う。

公共建築工事標準仕様相当工法（令和4年版）

仕 様	工法名	工 程	使用量(kg/m²)
QV-X-1工法	QV-X-1R CRトップ仕上げ	1 PMプライマー 2 QVシート ジョイントテープ／立上り用防水材 端末処理用テープ MBテープ 3 R-2000※1 4 CRトップ	0.2 1.06m 1.06m — 3.0 0.2
AV-X-1工法	AV-X-1R CRトップ仕上げ	1 サラセーヌAVボンド サラセーヌAVシートブルー※2 スリットテープ 2 サラセーヌAV-W 3 R-2000※1 4 CRトップ	0.3 — — 1.3※3 2.2 0.2
X-2工法	X-2R CRトップ仕上げ	1 各種プライマー※4 2 平場用ウレタン防水材 補強用クロス 3 R-2000※1 4 CRトップ	0.2※5 0.4 — 2.7 0.2
X-2立上り工法	X-2立上りR CRトップ仕上げ	1 各種プライマー※4 2 立上り用ウレタン防水材※5 補強用クロス 3 R-2000※1 4 CRトップ	0.2※5 0.4 — 1.7 0.2

※1：リムスプレーは、F-1000に変更できます。例えば、X-2R工法でF-1000に変更する場合、工法名はX-2F工法となります。
※2：サラセーヌAVシートブルーは、サラセーヌAVシートに変更可能です。
※3：サラセーヌAV-Wの塗布量は、サラセーヌAVシート使用時は1.4kg/m²となります。
※4：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※5：PMプライマーの標準塗布量を記載しています。
※6：各種サラセーヌ立上り用防水材および目止め用防水材が使用できます。ただし、「サラセーヌAV-W」は使用量が0.5kg/m²となります。

- 保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては39～40ページをご覧ください。
- 品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材は超耐候性または高耐候性保護仕上材をご採用ください。
- 補強用クロスについては45、49～50ページをご覧ください。
- 通気緩衝AV工法の詳細は17～18ページ、自着層付き通気緩衝QV工法の詳細は19～23ページをご覧ください。
- 各種サラセーヌ防水材の詳細は、「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

建築工事監理指針（令和4年版）抜粋

国土交通省建築工事監理指針（令和4年版）には以下の記載があるため、JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形認証製品のR-2000は、協議によって承認されれば、補強用クロスを省略することが可能となります。

建築工事監理指針（令和4年版）上巻945ページ

9章　防水工事　8節「標仕」以外の工法

9. 8. 2 塗膜防水「標仕」以外の工法

（1）超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水　＜抜粋＞

（ウ）この工法のうち、JIS A 6021に規定するウレタンゴム系高強度形を用いたものについては、実績も多く、次のような特徴がある（図9.8.1及び図9.8.2参照）。

(a) 密着工法では、補強布を使用しない。

(b) 所定量のウレタン防水材を、一工程で吹付ける。

仕様例

仕 様	工法名	工 程	使用量(kg/m²)
密着工法	X-2R 補強用クロスなし CRトップ仕上げ	1 各種プライマー※1 2 R-2000※3 3 CRトップ	0.2※2 3.0 0.2
立上り工法	X-2立上りR 補強用クロスなし CRトップ仕上げ	1 各種プライマー※1 2 R-2000※3 3 CRトップ	0.2※2 2.0 0.2

※1：下地によりプライマーの種別および塗布量は異なります。37ページをご覧ください。
※2：PMプライマーの標準塗布量を記載しています。
※3：R-2000（JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形）は、F-1000（JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形）に変更可能です。例えば、X-2R工法でF-1000に変更する場合、工法名はX-2F工法となります。

公共建築工事標準仕様書(令和4年版)

ウレタンゴム系塗膜防水工法の種別及び工程

種別	X-1 (絶縁工法)		X-2 (密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m²)	材料・工法	使用量(kg/m²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	3.0※4、※5	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	2.7※4、※5 (1.7) ※2
4	仕上塗料塗り※6	—	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	
5	—	—	仕上塗料塗り※6	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
※2：立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を（ ）内とする。
※3：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
※4：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。
※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。
※6：仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

施工法

下地処理

- **土などの汚れ**
  軽い汚れは、ワイヤブラシなどで取り除く。
  著しい汚れは、水洗いを併用し、水洗い後は十分に乾燥する。
- **油などの汚れ**
  溶剤拭きまたはサンダーなどで取り除く。
- **打継ぎ箇所および著しいひび割れ箇所**
  U形にはつり、シーリング材を充填した上、幅100mm以上の補強用クロスを用い補強塗りを行う。
- **ルーフドレン、配管など**
  金物に付着している錆およびモルタルは、ワイヤブラシなどで取り除く。
  取り合いはウレタンシーリング材で処理する。
  樹脂管は目荒しを行った後、サンPC-FVを塗布する。
- **入隅出隅部**
  出隅は通りよく45°の面取りとし、入隅は通りよく直角とする。
- **含水率**
  下地の含水率は10%以下を目安とする。

プライマー塗り

- プライマー塗りは、下地が十分に乾燥した後に清掃を行い、ローラー刷毛または刷毛を用いてむらなく塗布する。

自着層付き、通気緩衝シート張付け（QV工法例）

- 立上り部より50mm程度離し、しわ、浮きがないように張り付け、10kg以上掛けられる転圧ローラーで転圧する。
- QVシートの長辺ジョイント部は約75mm幅程度重ねる。短辺のジョイント部は、2mm間隔をあけて貼り付ける。
- ジョイント部はQVテープを貼り付け、立上り用のウレタン防水材で目つぶし処理を行う。
- 端末処理は、MBテープ100を貼り付け転圧し、立上り用のウレタン防水材で処理する。

接着剤塗り、通気緩衝シート張付け（AV工法施工例）

- AVボンドまたはRWボンド0.3kg/m²塗布直後、AVシートブルーまたはAVシートを隙間なく張る。
- 張り仕舞いは、立上り部より30mm程度離し、AVシートブルー端末部の上にクロス#4000を100mm重ねて張る。
- 伸縮目地の上にAVシートブルーの突合せ部が重ならないように張る。
- AVシートブルー張付け後、均一に転圧する。
- AVシートブルー突合せ部は、スリットテープ（AVスリット）で横3m間隔、縦中間に1箇所貼り付ける。

脱気装置取り付け

- SRステンレスベントは25～100m²に1箇所の割合で、SRパラベントは10mに1箇所の目安で取り付ける。

防水材吹付け

- プライマーなどの十分な硬化を確認する。
- 専用吹付け機を用いて均一に吹き付ける。
- 防水材の塗り継ぎの重ね幅は100mm以上とし、補強用クロスの重ね幅は50mm以上とする。

仕上塗料塗り

- 保護仕上材の主剤、硬化剤を配合比通り攪拌容器に移し、攪拌機でよく攪拌する。
- ローラー刷毛または刷毛を用いて0.2kg/m²均一に塗布する。

製品情報

リムスプレー

一般性状

	F-1000		R-2000		V-3000	
	主剤A	硬化剤B	主剤A	硬化剤B	主剤A	硬化剤B
主成分	イソシアネート成分	特殊レジン成分	イソシアネート成分	特殊レジン成分	イソシアネート成分	特殊レジン成分
外観	淡黄色透明液体	褐色透明液体	淡黄色透明液体	褐色透明液体	淡黄色透明液体	褐色透明液体
粘度（mPa・s／25℃）	500	500	540	500	600	550
比重	1.09	1.02	1.08	1.02	1.12	1.02
配合比（Vol.）	100	100	100	100	100	100

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。（副資材は対象となりません）
がついている製品は、特化則非該当製品です。（副資材は対象となりません）

作業性

品　名	F-1000	R-2000	V-3000
指触乾燥時間（秒／20℃）	8～18	10～25	8～15
初期硬化時間（分／20℃）	2～4	15～20	2～4

一般物性

品　名	F-1000	R-2000	V-3000
硬化物比重	1.0	1.0	1.0
硬さ（JIS）Aタイプ	89	78	95
硬さ（JIS）Dタイプ	—	—	45
引張強さ（N/mm²）	12	12	20
伸び率（%）	380	550	300
抗張積（N/mm）	912	1,320	1,200
引裂強さ（N/mm）	58	54	80

耐摩耗性（テーバーH-22、1kg×1,000回）

	F-1000	R-2000	V-3000
摩耗減量（mg）	216	288	140

参考：フラット仕上げ、保護仕上材なし

耐圧縮性（JIS K 6301）

品　名	F-1000
圧縮ひずみ率（圧縮荷重4.9MPa）	12%

下地接着力

下　地	試験方法	F-1000		R-2000		V-3000	
		強度	状態	強度	状態	強度	状態
コンクリート	建研式（N/mm²）	3.0	下地より材破	2.7	下地より材破	2.3	下地より材破

プライマー：サンPC-F

下地亀裂抵抗性

品　名	F-1000		R-2000		V-3000	
塗膜厚み（mm）	2	3	2	3	2	3
ゼロスパン（mm）	19	26	21	29	15	20

寸法安定性

温度（7日間）	伸縮率（%）		
	F-1000	R-2000	V-3000
80℃	−0.3	−0.2	−0.2

試験条件　JIS A 6021 加熱伸縮性状
塗膜厚2mm

$$伸縮率 = \frac{(L - Lo) \times 100}{Lo}$$

スプレーマシン設定温度／液圧

品　名	F-1000	R-2000	V-3000
プライマリーヒーター			
主　剤A　℃	65	65	65
硬化剤B　℃	65	65	55
ホースヒーター　℃	65	65	65
静止時液圧　PSI	1,500	1,500	1,500
（kgf/cm²）	100	100	100

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

防水材（建築用塗膜防水材 JIS A 6021）による試験結果

高強度形

項目		種類	JIS A 6021 屋根用ウレタンゴム系高強度形 共用	<共用> F-1000試験結果	<共用> R-2000試験結果	<共用> V-3000試験結果
引張性能	引張強さ N/mm²	試験時温度 23℃	10以上	12	12	20
		試験時温度 −20℃	10以上	19	23	33
		試験時温度 60℃	6.0以上	8.5	8.0	18
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	200以上	380	550	300
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	700以上	912	1,320	1,200
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	120以上	210	310	160
		試験時温度 −20℃	100以上	190	310	110
		試験時温度 60℃	100以上	170	240	200
引裂性能	引裂強さ N/mm		30以上	58	54	80
加熱伸縮性能	伸縮率 %		−1.0以上1.0以下	−0.3	−0.2	−0.2
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	91	88	105
		促進暴露処理	60以上	91	102	100
		アルカリ処理	60以上	92	100	105
		酸処理	80以上	94	99	105
	破断時の伸び率 %	加熱処理	180以上	340	470	320
		促進暴露処理	180以上	320	490	300
		アルカリ処理	180以上	350	570	300
		酸処理	180以上	370	580	310
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。	異常なし	異常なし	異常なし
		促進暴露処理		異常なし	異常なし	異常なし
		オゾン処理		異常なし	異常なし	異常なし
たれ抵抗性能※1		たれ長さ mm	いずれの試験体も3.0以下。	0.0	0.0	0.0
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない。	異常なし	異常なし	異常なし
固形分 %		主剤	表示値±3.0	99.5	99.0	98.0
		硬化剤		92.5	98.0	95.0
硬化物比重			表示値±0.1	1.0	1.0	1.0

※1：一般平場部に用いる一般用には適用しない。

高伸長形

項目		種類	JIS A 6021 屋根用ウレタンゴム系高伸長形 共用	<共用> R-2000試験結果
引張性能	引張強さ N/mm²	試験時温度 23℃	2.3以上	12
		試験時温度 −20℃	2.3以上	23
		試験時温度 60℃	1.4以上	8.0
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	450以上	550
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	280以上	1,320
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	300以上	310
		試験時温度 −20℃	250以上	310
		試験時温度 60℃	200以上	240
引裂性能	引裂強さ N/mm		14以上	54
加熱伸縮性能	伸縮率 %		−4.0以上1.0以下	−0.2
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	88
		促進暴露処理	60以上	102
		アルカリ処理	60以上	100
		酸処理	80以上	99
	破断時の伸び率 %	加熱処理	400以上	470
		促進暴露処理	400以上	490
		アルカリ処理	400以上	570
		酸処理	400以上	580
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。	異常なし
		促進暴露処理		異常なし
		オゾン処理		異常なし
たれ抵抗性能※1		たれ長さ mm	いずれの試験体も3.0以下。	0.0
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない。	異常なし
固形分 %		主剤	表示値±3.0	99.0
		硬化剤		98.0
硬化物比重			表示値±0.1	1.0

※1：一般平場部に用いる一般用には適用しない。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

耐薬品性(48時間スポット試験による試験結果、23℃)

薬品名		防水材 / 保護仕上材 (CRトップ)	F-1000		R-2000		V-3000	
			なし	あり	なし	あり	なし	あり
無機酸	塩酸	5%	◎	◎	○	◎	◎	◎
	塩酸	10%	—	—	—	—	◎	◎
	塩酸	30%	—	—	—	—	×	○
	硫酸	5%	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	硫酸	10%	—	—	—	—	◎	◎
	硫酸	30%	—	—	—	—	○	○
	硝酸	10%	—	—	—	—	×	×
	硝酸	30%	—	—	—	—	×	×
	燐酸	10%	—	—	—	—	×	○
	燐酸	30%	—	—	—	—	×	×
有機酸	酢酸	5%	○	◎	○	◎	◎	◎
	酢酸	10%	—	—	—	—	○	○
	酢酸	30%	—	—	—	—	×	×
	乳酸	10%	—	—	—	—	×	○
	乳酸	30%	—	—	—	—	×	○
アルカリ類	アンモニア水	5%	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水酸化ナトリウム	2%	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水酸化ナトリウム	10%	—	—	—	—	◎	◎
	水酸化ナトリウム	30%	—	—	—	—	◎	◎
	セメントペースト		◎	◎	◎	◎	◎	◎
塩類	次亜塩素酸ナトリウム	12%	—	—	—	—	△	◎
その他	エチルアルコール	95%	×	◎	×	◎	◎	◎
	灯油		×	×	×	×	◎	◎
	軽油		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	大豆油		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	潤滑油		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	トイレ洗浄剤(塩酸系)		□	□	□	□	□	◎
	トイレ洗浄剤(塩素系)		—	—	○	○	○	◎

判定
◎:変化無し　○:わずかに艶ひけ　□:わずかに艶ひけ＋わずかに変色　△:変色　×:膨潤　—:データなし

促進暴露試験(F-1000)

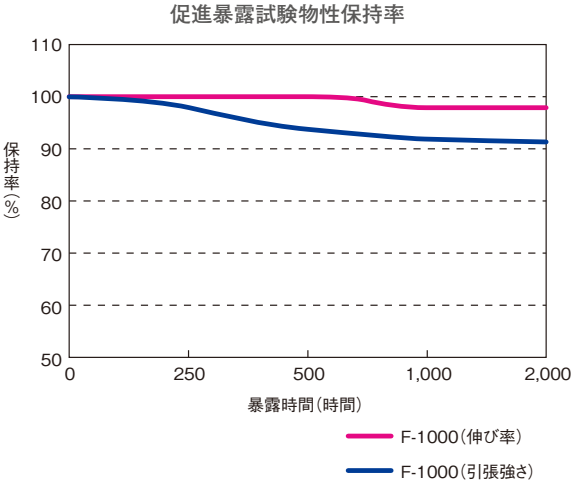
1. 試験方法:　JIS A 1415「高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法」に準拠
2. 試験片:　リムスプレーF-1000(グレー)の2mm厚のシートを標準条件で作成
3. 促進暴露試験装置:　WS型(サンシャインカーボンアーク燈)を使用
4. 試験時間:　250、500、1,000および2,000時間
5. 評価方法:　引張強さおよび伸び率を測定
6. 試験結果:　F-1000は、促進暴露試験による塗膜の劣化はほとんど見られない。

促進暴露試験物性試験結果

	試験結果	測定法
耐候劣化性 ウェザオメーター	2,000時間異常なし※1	
伸長劣化性		
加熱劣化	割れ変形なし	JIS A 6021
オゾン劣化	割れ変形なし	JIS A 6021
耐水性	異常なし	JIS K 5400
耐塩水性	異常なし	JIS K 5400
耐アルカリ性	異常なし	JIS A 6021

※1:JIS A 6021規格値:250時間で、ひび割れ、変形なし

促進暴露試験物性保持率

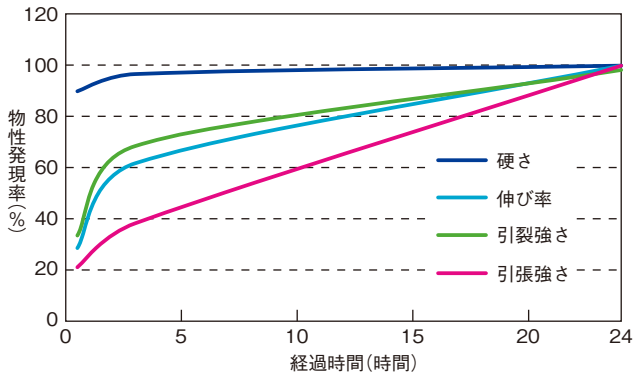


上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

物性発現性試験(F-1000)

リムスプレーF-1000は超速硬化システムであり、施工後のゴム弾性発現性が極めて速いのが特長です。
右に、リムスプレーF-1000の物性発現性を示します。(カタログ物性値を100%とした物性発現率)
施工後30分で歩行可能な状態となります。

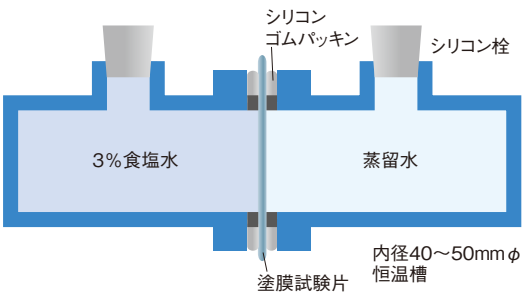
リムスプレーF-1000の物性発現性 (23℃の場合)



しゃ塩性試験(F-1000)

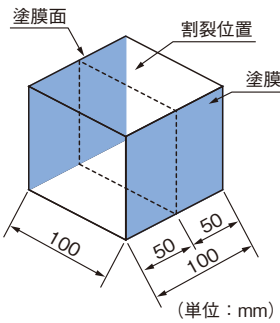
1. 試験方法： 日本道路公団試験研究所規格「遮塩性試験」JHERI 410-13-2001に準拠
2. 測定方法： 試験片の表側に3%食塩水を接し、裏側に蒸留水を接して、塗膜中を透過する塩素イオン量を測定
3. 試験条件： 温度20℃で30日間放置
4. 試験結果： 塩素イオン透過量は0.7×10^{-3}mg/cm^2・日(測定下限以下)であった。(規格:5.0×10^{-3}mg/cm^2・日以下)

塩素イオン透過量測定方法

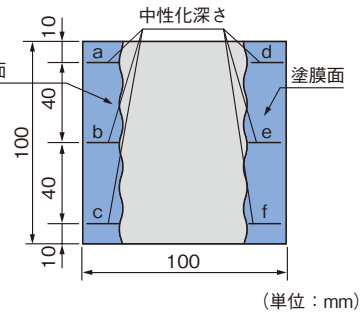


中性化阻止性試験(F-1000)

1. 試験方法： 日本道路公団試験研究所規格「コンクリート橋桁端部防水システムの防水層の品質規格」4.3:JHERI 410-15-2001に準拠
2. 試験片： 所定期間養生された基材モルタルの塗膜面2面にF-1000を2mm吹き付け、他の4面をエポキシ樹脂接着剤でシールをした。
3. 試験装置： 中性化促進試験装置
4. 試験条件： 温度30℃、湿度60%、炭酸ガス濃度5%に30日間静置
5. 試験結果： 試験体を中性化促進試験装置に30日間静置させた後で取り出し、中性化深さを測定。すべてが、0mmであった。
(規格:1mm以下)

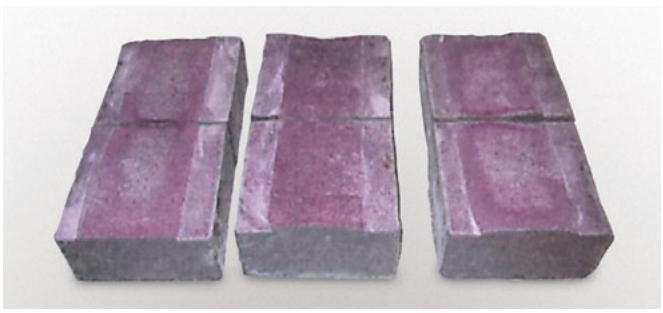


割裂位置



測定箇所

試験体番号	中性化深さ(mm)					
	a	b	c	d	e	f
No.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	0.0					



上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

プライマー

◎標準　○適用可　×適用不可

製品名	PM プライマー ♥	サンPC-F	サンPC ♥	PW-100 プライマー 🌿♥	サンPC-U2	PE-670 プライマー	サンPC-PS ♥	PW-60 プライマー 🌿♥	サンPC-FV	PJ層間 プライマー 🌿♥
材質・特長	1液 ウレタン系	1液 ウレタン系	1液 ウレタン系	3成分型 水性エポキシ系	2液 エポキシ変性 ウレタン系	2液 エポキシ系	1液 ウレタン系	2液 水性ウレタン系	1液 ウレタン系	1液 ウレタン系
用　途	一般モルタル・コンクリート用、翌日吹付け用	速乾タイプ、一般モルタル・コンクリート用	リムスプレーの層間用、ウレタン下地改修用	一般モルタル・コンクリート用、環境対応型	一般モルタル・コンクリート用、金属下地用	金属下地用 錆止め	溶剤型 保護仕上材の層間用	水性保護仕上材層間用、環境対応型	塩ビシート、FRP下地用	弱溶剤型 保護仕上材の層間用
荷　姿	16kg缶	16kg缶	16kg缶	12kg セット［主剤3kg 硬化剤3kg フィラー6kg］丸缶	18kg セット［主剤9kg 硬化剤9kg］	10kg セット［主剤8kg 硬化剤2kg］	15kg缶	11kg セット［主剤0.5kg×2 硬化剤5kg×2］丸缶	17kg缶 / 10kg セット［1kg缶×10］	5kg缶
標準塗布量※1 (kg/m²)	0.2	0.2	0.1～0.15	0.2～0.3	鋼板：0.1～0.15 コンクリート：0.2	0.15～0.2	0.1～0.15	0.1～0.15	0.1～0.15	0.1～0.15
QVシート施工面の適用	◎	○	○	×	○	×	×	×	○	×

※1：プライマーの塗布量は下地の状況により増減します。

🌿がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。（副資材は対象となりません）

♥がついている製品は、特化則非該当製品です。（副資材は対象となりません）

プライマーの下地への適応性

◎標準　○適用可　×適用不可

		PM プライマー	サンPC-F	サンPC	PW-100 プライマー	サン PC-U2	PE-670 プライマー	サン PC-PS	PW-60 プライマー	サン PC-FV	PJ層間 プライマー
一般モルタル・コンクリート		◎	○※1	○	○	◎	○	×	×	×	×
金属下地	鋼板	×	×	×	×	◎	○	×	×	×	×
	アルミ	×	×	×	×	◎	○	×	×	×	×
	ステンレス	×	×	×	×	◎	○	×	×	×	×
錆面		×	×	×	×	×	◎3種ケレン	×	×	×	×
層間プライマー	リム／リム	×	×	◎※2	×	×	×	×	×	×	○※2
	リム／水性保護仕上材	×	×	×	×	×	×	×	◎※5	×	○※5
	リム／弱溶剤型保護仕上材	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎※3
	リム／溶剤型保護仕上材	×	×	×	×	×	×	◎※3	×	×	○
改修リムスプレー		×	×	◎	×	×	×	×	×	×	×
異種部材	塩ビ	×	×	×	×	×	×	×	×	◎※4	×
	FRP	×	×	×	×	×	×	×	×	◎※4	×

※1：サンPC-F塗布後、1日以上間隔が開いた場合は、層間プライマーとしてサンPC-U2をご使用ください。
※2：リムスプレー吹付け後、次工程までの間隔が1日以上開いたり、雨に打たれた場合の層間プライマーです。
※3：リムスプレー吹付け後、保護仕上材塗布までの間隔が1日以上開いたり、雨に打たれた場合の層間プライマーです。
※4：使用条件により、ウレタン希釈剤で倍希釈以下まで希釈してご使用ください。
※5：水性保護仕上材を塗布するための前処理プライマーです。
・この表は目安です。条件によっては必ずしも適用できない場合がありますので、事前に接着試験などを行って確認してください。

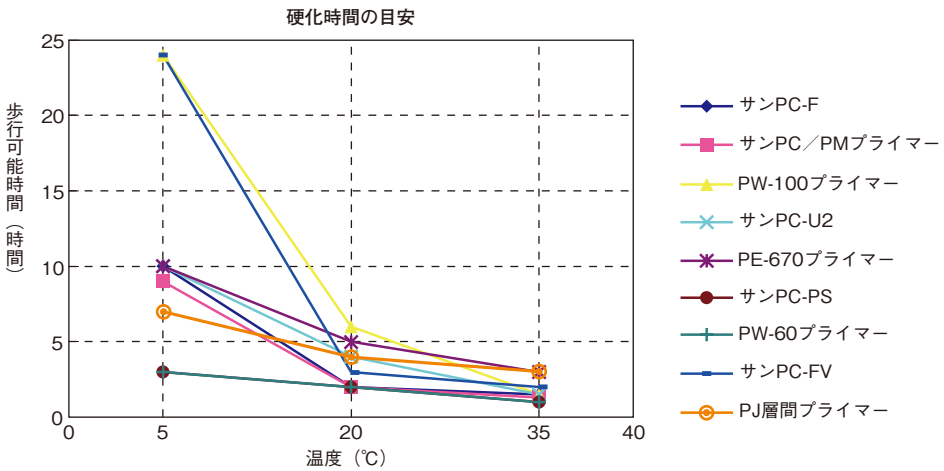
上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

性状・物性

	PM プライマー	サンPC-F	サンPC	PW-100 プライマー	サン PC-U2	PE-670 プライマー	サン PC-PS	PW-60 プライマー	サン PC-FV	PJ層間 プライマー
配合比（質量比）	1液	1液	1液	1:1:2	1:1	4:1	1液	1:10	1液	1液
混合粘度（mPa·s／20℃）	20	30	30	400	80	2,500	10	23	150	10
混合液比重	0.98	1.01	0.97	1.56	1.16	1.30	0.89	1.02	0.96	1.04
固形分（%）	35	45	30	66	44	70	5	21	40	22
可使時間（時間／20℃）	—	—	—	3	8	9	—	3	—	—
初期硬化時間（時間／20℃）	1〜2	2〜3	2〜3	4〜5	3〜4	4〜5	2〜3	2〜3	2〜3	4〜5
吹付け可能時間※1（時間／20℃）	15〜72	2〜8	2〜48	4〜168	3〜72	4〜168	—	—	2〜24	—
接着強度　(N/25mm)										
モルタル	80	100	82	100	80	92	—	—	—	—
スレート瓦	51	160	—	76	—	—	—	—	—	—
リムスプレー	—	—	120	—	—	—	—	—	—	—
鋼板	—	—	—	—	160	113	—	—	—	—
アルミ	—	—	—	—	131	87	—	—	—	—
銅板	—	—	—	—	111	87	—	—	—	—
ステンレス	—	—	—	—	170	89	—	—	—	—
塩ビ	—	—	—	—	—	—	—	—	74	—
FRP	—	—	—	—	—	—	—	—	100	—

接着強度：180度はく離接着強さ試験方法（JIS K 6854準拠）
※1：吹付け可能時間を過ぎた場合は、下の「施工上の注意」をご参照ください。

プライマーの硬化性



施工上の注意

・下地は十分に清掃・乾燥させてください。鉄部の錆や油分は除去してください。
・プライマーは液だまりができないよう、均一に塗布してください。
・プライマーの吸い込みが激しいモルタル部分は、表層が濡れ色になるまで塗布してください。
・プライマーの塗布後、次工程までの間隔が開いたり雨に打たれた場合、プライマーを再塗布してください。

	PM プライマー	サンPC-F	サンPC	PW-100 プライマー	サンPC-U2	PE-670 プライマー	サンPC-PS	PW-60 プライマー	サンPC-FV	PJ層間 プライマー
再塗布するプライマー	PM プライマー	サンPC-U2	サンPC	PW-100 プライマー	サンPC-U2	PE-670 プライマー	サン PC-PS※1	PW-60 プライマー※1	サンPC-FV	PJ層間 プライマー※1

※1：塗布間隔は24時間以内です。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

保護仕上材

製品名		RM フッ素	RM フッ素 サーモ	CR トップ	CR トップ 半艶	CR サーモ	Tフッ素 水性	Tフッ素 水性 サーモ	TW トップ	TW サーモ	TJ フッ素	TJ トップ	TJ トップ 半艶	TJ サーモ	TJフッ素 サーモ	TS トップ	TS トップ 半艶	TS サーモ
特長	材質	超耐候性、溶剤型フッ素樹脂系		溶剤型アクリルウレタン系、速乾タイプ			超耐候性、水性フッ素樹脂系、環境対応型		水性アクリルウレタン系、環境対応型		超耐候性、弱溶剤型フッ素樹脂系、環境対応型	弱溶剤系アクリルウレタン系環境対応型			超耐候性、フッ素樹脂系、環境対応型	弱溶剤系アクリルシリコーン系環境対応型		
	遮熱型	—	○	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	○
仕上がり状態		平滑・艶あり		平滑・艶あり	平滑・艶消し	平滑・艶あり	平滑・艶あり		平滑・艶あり		平滑・艶あり	平滑・艶あり	平滑・艶消し	平滑・艶あり	平滑・艶あり	平滑・艶あり	平滑・艶消し	平滑・艶あり
荷姿		8kgセット［主剤2kg 硬化剤6kg］		15kgセット［主剤6kg 硬化剤9kg］			11kgセット［主剤1kg 硬化剤10kg］		11kgセット［主剤1kg 硬化剤10kg］		8kgセット［主剤2kg 硬化剤6kg］	15kgセット［主剤6kg 硬化剤9kg］			8kgセット［主剤2kg 硬化剤6kg］	15kgセット［主剤6kg 硬化剤9kg］		
標準塗布量 (kg/m^2)		0.15～0.2		0.2			0.2※1（2回塗り）		0.2※1（2回塗り）		0.15～0.2	0.2			0.15～0.2	0.2		
前処理プライマー		—		—			PW-60 プライマー		PW-60 プライマー		—	—			—	—		

・保護仕上材は、希釈せずにそのままお使いください。
・リムスプレー吹付け後、保護仕上材塗布までの間隔が1日以上開いたり、雨に打たれた場合の層間プライマーについては37～39ページをご覧ください。
※1：水性保護仕上材は丁寧に縦横十字に塗布してください。
がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。（副資材は対象となりません）
がついている製品は、特化則非該当製品です。（副資材は対象となりません）

保護仕上材のカラーバリエーション

標準色	日塗工 色見本帳・色票番号	RMフッ素	CRトップ／CRトップ半艶	Tフッ素水性	TWトップ	TJフッ素サーモ／RMフッ素サーモ／CRサーモ／TWサーモ／Tフッ素水性サーモ／TJサーモ／TSサーモ	TJフッ素	TJトップ／TJトップ半艶	TSトップ／TSトップ半艶
グレー	N-45近似色								
ライトグレー	N-55近似色								
グリーン	37-50L近似色								
シルバーグレー	N-70近似色								
オイスター	15-70D近似色								
オオド	17-60H近似色								
パールグレー	19-70B近似色								
ベージュ	22-70H近似色								
ライトグリーン	37-50H近似色								
ダークグリーン	39-40H近似色								
遮熱ライトグレー	N-70近似色								
遮熱ベージュ	22-70C近似色								
遮熱ライトグリーン	39-70H近似色								

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・同一色でも保護仕上材の種類によって多少色調が異なります。予めご了承ください。
・上記以外の色はご相談ください。ただし、遮熱色は特注色の対応ができません。
・特注色は、日塗工色見本帳の色票番号でご注文ください。
・特注色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合もありますので、予めご了承ください。
・納期はお問い合わせください。

保護仕上材の仕上げオプション

工法名表示の例：CR仕上げの「SD-RR20CR工法」をRMフッ素仕上げに変更する場合、
工法名は表示記号「CR」を「RMF」に変え、「SD-RR20RMF工法」となります。

◎標準　○適用可
×適用不可

製品名			RM フッ素	RM フッ素 サーモ	CR トップ	CR トップ 半艶	CR サーモ	Tフッ素 水性	Tフッ素 水性 サーモ	TW トップ	TW サーモ	TJ フッ素	TJ トップ	TJ トップ 半艶	TJ サーモ	TJ フッ素 サーモ	TS トップ	TS トップ 半艶	TS サーモ
表示記号			RMF	RMF サーモ	CR	CR 半艶	CR サーモ	Tフッ素 W	Tフッ素 Wサーモ	TW	TW サーモ	TJ フッ素	TJ	TJ 半艶	TJ サーモ	TJ フッ素 サーモ	TS	TS 半艶	TS サーモ
「10年間メンテナンスフリー」対応			対応	対応				対応	対応			対応				対応	対応	対応	対応
環境対応型※1								対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応
防水工法	一般密着SD工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	通気緩衝AV工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自着層付き通気緩衝QV工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	機械的固定メカロックML工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	外断熱・機械的固定AIM工法		×	○	×	×	◎	×	○	×	○	×	×	×	○	◎	×	×	○
	遮熱・遮音・金属防錆MR工法		○※3	◎	○※3	○※3	◎	○※3	◎	○※3	◎	○※3	○※3	○※3	◎	◎	○※3	○※3	◎
	勾配屋根・スレート瓦・球形タンクSR工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公共建築工事標準仕様相当工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駐車場防水工法	AD-RV工法		○※2	○※2	◎	○	○	○※2	○※2	○	○	×	○	○	○	○	○※2	○※2	○
	AD-VV工法		○※2	○※2	◎	○	○	○※2	○※2	○	○	×	○	○	○	○	○※2	○※2	○
競技場床工法	観覧席・コンコースGS工法	歩行用一般仕様	○※2	○※2	○	◎	○	○※2	○※2	○	○	○※2	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○※2
		歩行用標準仕様	○※2	○※2	○	◎	○	○※2	○※2	○	○	○※4	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○※2
床工法	一般床YK工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	階段室床KD工法		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高荷重床HY工法		○※2	○※2	◎	○	○	○※2	○※2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※1：環境対応型PW-100プライマーを併せてご使用ください。
※2：適用可としますが、「10年間メンテナンスフリー」への適用は除外します。
※3：遮熱機能が必要とされない場合、適用可とします。
※4：GS工法歩行用標準仕様（V-3000上）は不可とします。適用可の仕様（V-3000以外）でも「10年間メンテナンスフリー」への適用は除外します。
・CR仕上げの「SD-RR20CR」で、チップ#20入り粗面仕上げを希望される場合の表示記号は、「SD-RR20CR・NS」となります。
チップ#20については47～48ページをご覧ください。

保護仕上材のメンテナンス

・通常の防水工法の場合で、アクリルウレタン系保護仕上材は原則として5年ごとに塗り替えてください。ただし、海岸地域、工業地帯などの環境条件の厳しい地域では、より短期間での塗り替えとなります。使用頻度や歩行状況により、保護仕上材が著しく摩耗・損傷した場合には、その都度の塗り替えをおすすめします。
・通常の防水工法の場合で、超耐候性および高耐候性保護仕上材は「10年間メンテナンスフリー」です。「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（品確法）で定められた新築住宅にご採用ください。
・駐車場工法、競技場工法および床工法は前項の「10年間メンテナンスフリー」の適用を除外します。使用頻度や歩行・走行状況により、保護仕上材もしくは防滑層が著しく摩耗・損傷し、耐久性、防滑性、安全性に支障をきたす恐れが生じた場合は、その都度塗り替え、再施工してください。
・防水保証については56ページの「防水保証の考え方」をご覧ください。

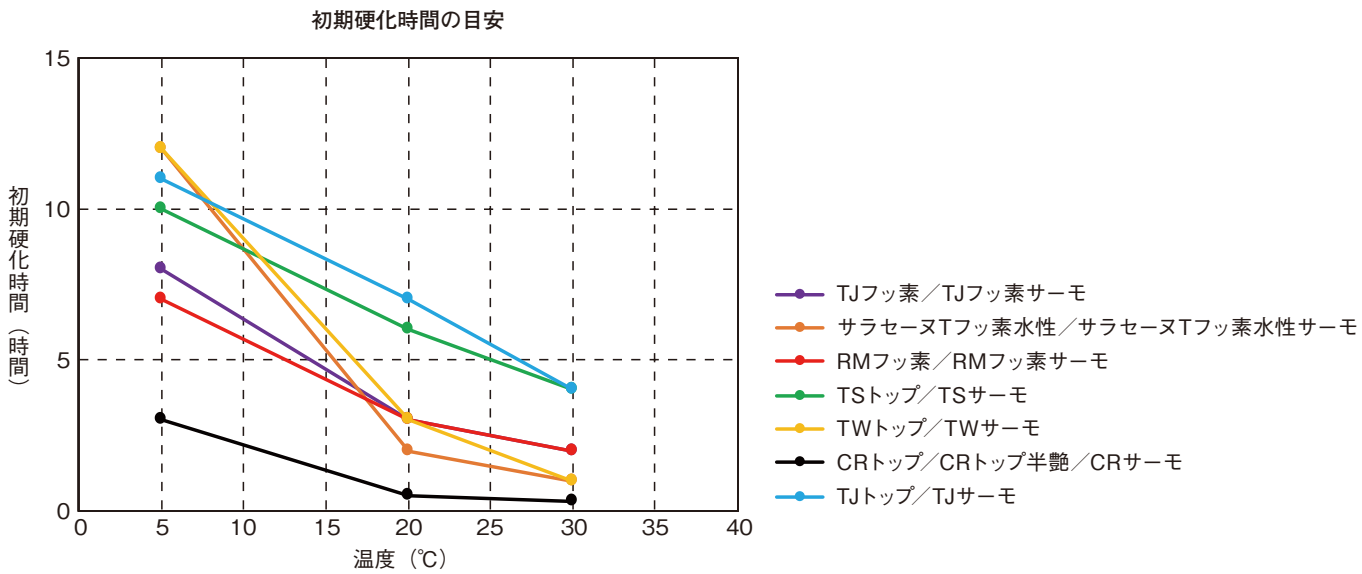
製品情報

性状・物性

		RMフッ素	RMフッ素サーモ	CRトップ／CRサーモ	CRトップ半艶	Tフッ素水性／Tフッ素水性サーモ	TWトップ／TWサーモ	TJフッ素／TJフッ素サーモ	TJトップ／TJサーモ	TJトップ半艶	TSトップ／TSサーモ	TSトップ半艶
配合比（質量比）		1:3	1:3	2:3	2:3	1:10	1:10	1:3	2:3	2:3	2:3	2:3
混合粘度（mPa・s／20℃）		117	144	75	88	300	300	130	100	180	100	180
混合液比重		1.12	1.16	1.03	1.09	1.18	1.10	1.17	1.10	1.09	1.10	1.09
固形分（%）		46	48	37	44	49	47	45	38	38	38	38
可使時間（時間／20℃）		3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3
初期硬化時間（時間／20℃）		3	3	20～30分	20～30分	4	3	3	3	3	3	3
60度鏡面光沢度		80	80	87	30	63	72	78	85	43	85	43
付着性（碁盤目）※1		分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）	分類0（100/100）
耐候性（サンシャインウェザオメーター）	1,000時間	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	2,000時間	異常なし	異常なし	光沢低下	白華	異常なし	光沢低下	異常なし	光沢低下	光沢低下	若干光沢低下	光沢低下

※1：JIS K 5600-5-6付着性（クロスカット法）に準拠する。

保護仕上材の硬化性



遮熱保護仕上材の遮熱効果

RMフッ素サーモ／CRサーモ

・RMフッ素サーモ：
溶剤型遮熱用フッ素樹脂系保護仕上材
色：遮熱ライトグレー、遮熱ベージュ、遮熱ライトグリーン
標準塗布量：0.15〜0.2kg/m^2
・CRサーモ：
溶剤型遮熱用アクリルウレタン系保護仕上材
色：遮熱ライトグレー、遮熱ベージュ、遮熱ライトグリーン
標準塗布量：0.2kg/m^2

外部機関日射反射率試験結果

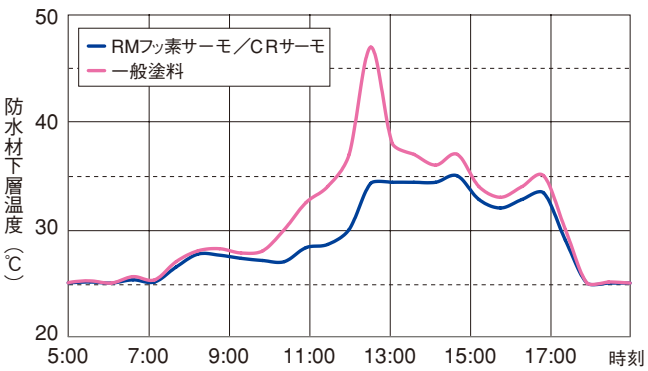
	RMフッ素サーモ	CRサーモ	測定方法 測定機関
グリーン購入法※1	65.6%（L値60）	72.8%（L値58）	JIS K 5602 近赤外線域 日本塗料検査協会

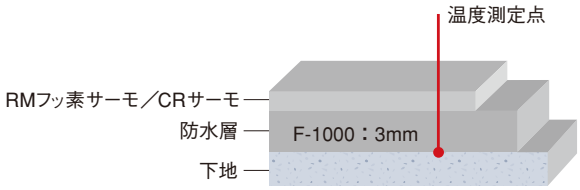
※1：明度L※値が40.0を超す場合は、近赤外域における日射反射率(%)が明度L※値の値以上であること。

遮熱性能

自社遮熱性試験（屋外試験）

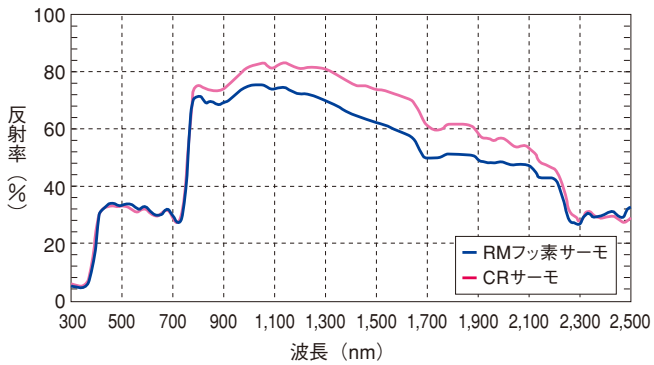
・下地表面温度グラフ





測定場所：埼玉県久喜市
工　　法：一般密着工法
下　　地：スレート板

分光反射率（JIS K 5602）



施工上の注意

・保護仕上材は無希釈でご使用ください。水性の保護仕上材は水希釈すると色調が変化し、色ムラを起こします。
・保護仕上材はローラー刷毛についた材料を絞りながら、液だまりができないよう均一に、丁寧に縦横十字に塗布してください。
・水性の保護仕上材は可使時間を過ぎても外見上は施工可能ですが、本来の性能がでません。必ず下記の時間内に使い切ってください。

温度	5〜15℃	15〜20℃	20〜35℃
TWトップ	5時間	3時間	1時間

・水性の保護仕上材は分散しにくいため、主剤・硬化剤を混合後、直ちに機械攪拌してください。吹付け厳禁。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

RMフッ素　超耐候性フッ素樹脂系保護仕上材

AGCが世界で初めて開発した塗料用フッ素樹脂「ルミフロン」を採用。その優れた耐候性により、建物で一番過酷な条件にさらされるウレタン防水層をしっかり保護し、長期に渡って劣化を防ぎます。10年間塗り替え不要で、ライフサイクルコストを大幅に削減できます。

RMフッ素なら10年間メンテナンスフリー

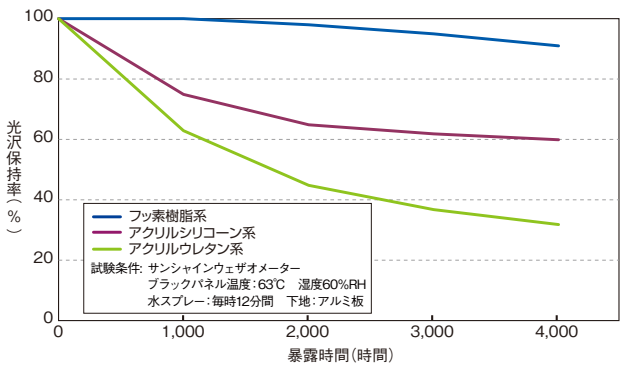
その他の高耐久性塗料と比べて塗り替え周期が飛躍的に延びるので、ライフサイクルコストを大幅に削減できます。

RMフッ素は塩害や化学薬品対策に有効

アルカリ性、酸性などの化学薬品や各種溶剤に対して優れた耐薬品性を持っており、抜群の耐候性と相まって、塩害に悩む海岸部や化学工場地帯などでも、安心してご使用いただけます。

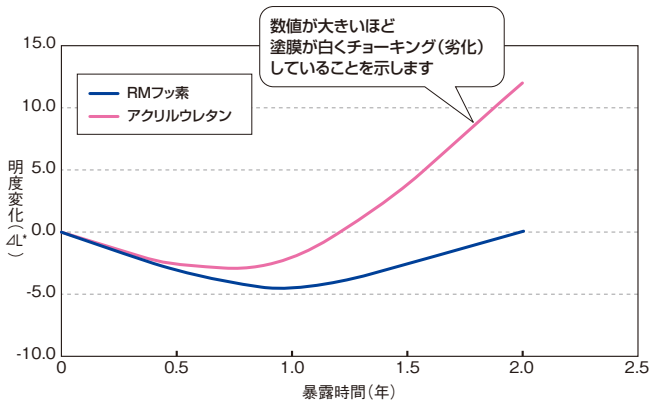
促進耐候性試験（SWOM）光沢保持率（当社測定値）

その他の高耐久性塗料との比較試験



試験方法
JIS K 5600-7-8促進耐候性（紫外線蛍光ランプ法）より、初期光沢を100%とし、一定時間暴露処理した時の光沢保持率を測定しています。
ブラックパネル温度：63±3℃
水噴射時間：120分照射中に18分間
下地：アルミ板

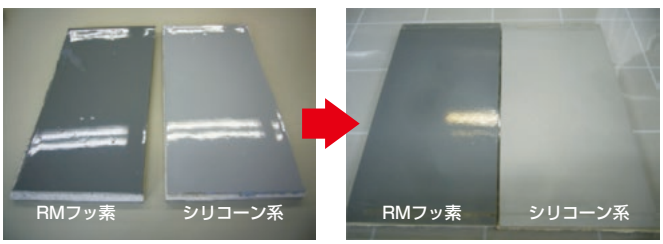
年間の屋外暴露試験で見るRMフッ素の優位性（沿岸部）



試験方法
下地：ウレタン防水材との複層
沖縄県宮古島（南面30°）

4,000時間（10年相当）処理後の試験体の外観変化

シリコーントップコートは光沢が失われていますが、RMフッ素は、蛍光灯の灯りが映りこむ位の光沢を保持しています。



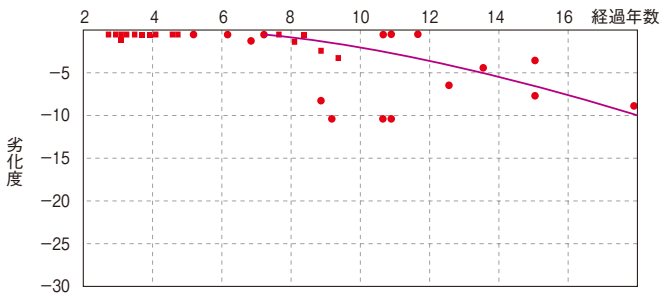
処理前の初期状態　　4,000 時間暴露処理後

フッ素樹脂系の経年変化の実態調査(当社調べ)

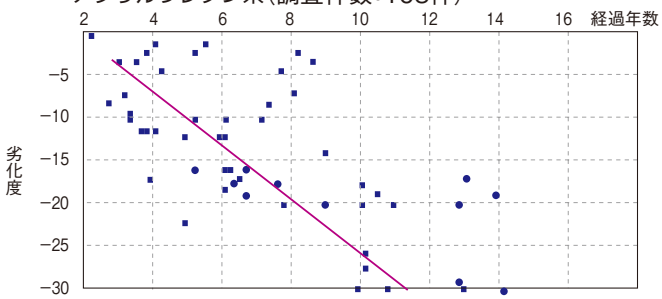
経過年数と劣化度

保護仕上材の劣化度をチョーキングとクラックの2項目について評価し、総合点数化（点数が少ないほど良好）した結果です。
フッ素塗料の優れた耐候性を、一目で納得していただけます。

フッ素樹脂系(調査件数:63件)

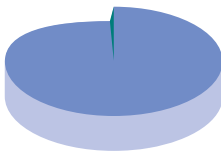


アクリルウレタン系(調査件数:103件)

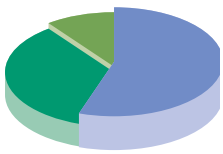


劣化度の比率

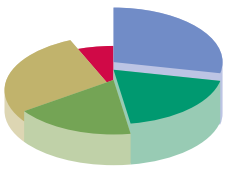
フッ素樹脂系
(経過年数5年未満)



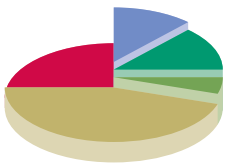
フッ素樹脂系
(経過年数5年以上)



アクリルウレタン系
(経過年数5年未満)



アクリルウレタン系
(経過年数5年以上)

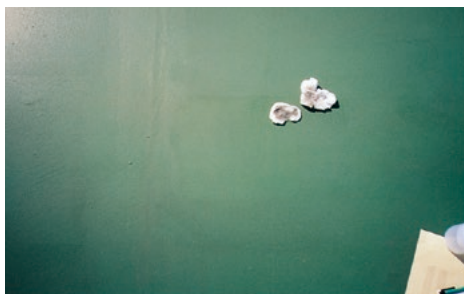


劣化度
0〜−5
−6〜−10
−11〜−15
−16〜−20
−21以下

現場診断の例

9ヵ月経過

評価点数　チョーキング 0　クラック 0　合計 0

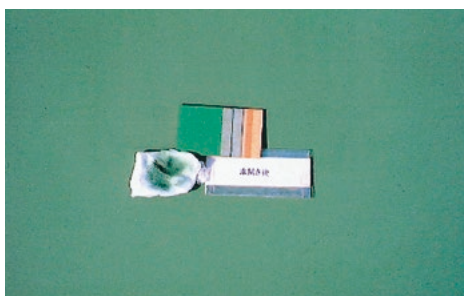


チョーキング:セロテープ転写

平場A		立上りA	
乾拭き前	乾拭き後	乾拭き前	乾拭き後

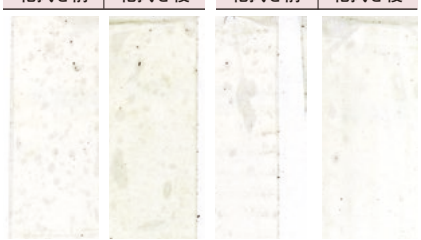
8年8ヵ月経過

評価点数　チョーキング −8　クラック 0　合計 −8



チョーキング:セロテープ転写

平場A		立上りA	
乾拭き前	乾拭き後	乾拭き前	乾拭き後



※写真は当社社員が撮影したものを無修正で掲載しました。

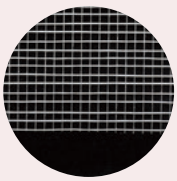
製品情報

補強用クロス

サラセーヌクロス#2000

防水材補強用クロス。平場用および立上り部用。

- ガラス繊維織布
- 荷姿：(幅1m×長さ100m)×1巻/紙包装



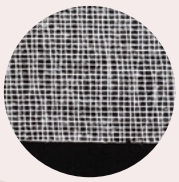
注意事項

水濡れ厳禁

サラセーヌクロス#4000

防水材補強用クロス。平場用および立上り部用。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でもなじみ易く、取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅1m×長さ50m)×1巻/紙包装



注意事項

水濡れ厳禁

サラセーヌクロス#4100

防水材補強用クロス。クラック・出入隅など。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でも取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m)×10巻/箱

注意事項

水濡れ厳禁

サラセーヌクロス#4200

防水材補強用クロス。AVシート端末部処理など。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でも取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅200mm×長さ50m)×5巻/箱

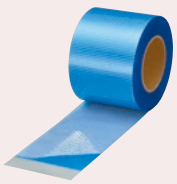
注意事項

水濡れ厳禁

クロステープ#100

自着層付防水材補強用クロス。クラック・出入隅など。

- ガラス繊維織布
- 離型フィルム付なので、貼り付けが簡単です。
  プライマー塗布乾燥後、貼り付けてください。
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m)×4巻/箱



注意事項

水濡れ厳禁

プライマーが完全に硬化後に貼り付けてください。

クロステープ#200

自着層付防水材補強用クロス。AVシート端末部処理など。

- ガラス繊維織布
- 離型フィルム付なので、貼り付けが簡単です。
  プライマー塗布乾燥後、貼り付けてください。
- 荷姿：(幅200mm×長さ50m)×2巻/箱

注意事項

水濡れ厳禁

プライマーが完全に硬化後に貼り付けてください。

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質無配合)1液ウレタン防水材

サラセーヌSB

・JIS高伸長形ウレタン防水材でありながら、JIS高強度形の抗張積規格値の
700N/mm以上を満たした高物性タイプのウレタン防水材です。

・サラセーヌSB：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
・サラセーヌSB立上り用：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品
・サラセーヌSB中粘度：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
・色：ブルーグレー
・硬化物比重： サラセーヌSB　1.3
　　サラセーヌSB立上り用　1.3
　　サラセーヌSB中粘度　1.3
・荷姿：サラセーヌSB　16kg、9kg（受注生産）
　　サラセーヌSB立上り用　5kg
　　サラセーヌSB中粘度　9kg
　　1液防水材専用硬化促進剤　450ml×9本/箱

＊希釈剤の希釈量は重量比で5%を上限としてご使用ください。＊発泡ベラなどで平滑に均してください。
＊低温施工時は、重量比で1.5%を上限として、1液防水材専用硬化促進剤をご使用ください。
＊施工時に色浮きが生じる場合がありますが、品質には問題ありません。

サラセーヌSB
16kg

サラセーヌSB立上り用
5kg

サラセーヌSB中粘度
9kg

施工用具類

ベビーリム®

簡易型超速硬化ウレタンスプレーシステム
「だれでもかんたん防水コーティング」
・容易な持ち運び、簡単な作業、かつ経済性に配慮した「簡易型超速硬化ウレタンスプレーシステム」です。

使用用途
① 防水層の部分補修
② ベランダ、側溝・巾木などの小規模防水改修
③ ドレン／役物周りの防水処理
④ 各種基礎の防水処理（設備架台、手摺りなど）

スマートガン SG-06 型

システム概要
・ベビーリムカートリッジ　　BR-100
　荷姿：600cc×10セット/箱
・スマートガン　　SG-06型
・エアコンプレッサー
　推奨コンプレッサー　　吐出し空気量　135L/min（1.25kW）以上

ベビーリムカートリッジ BR-100

製品情報

製品一覧

製品名	荷姿（kg）			色（外観）	用途・特長
超速硬化ウレタン吹付け防水材					
リムスプレーF-1000	主　剤A	200	18	（淡黄色透明）	歩行用防水材　注） JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形共用認証製品
	硬化剤B	182	17	（褐色透明）	
リムスプレーR-2000	主　剤A	200	18	（淡黄色透明）	歩行用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形及び 高強度形共用認証製品
	硬化剤B	182	17	（褐色透明）	
リムスプレーV-3000	主　剤A	200	18	（淡黄色透明）	歩行用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形共用認証製品
	硬化剤B	182	17	（褐色透明）	
リムトナー	（1成分）	8	0.8	標準色5ページ参照	リムスプレー着色剤
手塗り防水材					
サラセーヌK	主　剤	8	6	ライトグレー	平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形一般用認証製品
	硬化剤	16	12		
サラセーヌ立上り用	主　剤	8		ライトグレー	立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品
	硬化剤	16			
ウレタン硬化促進剤	（1成分）	4	—	（淡黄色透明）	ウレタン防水材用硬化促進剤
サラセーヌEZ	主　剤	8		ブルーグレー	平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形一般用認証製品
	硬化剤	16			
サラセーヌEZ立上り用	主　剤	8		ブルーグレー	立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品
	硬化剤	16			
ウレタン硬化促進剤EX	（1成分）	4	—	（黄褐色液体）	特化則非該当ウレタン防水材 （EZ・AZ・EQ）用硬化促進剤
ECO用希釈剤	（1成分）	16L	—	（無色透明）	ウレタン防水材の希釈・洗浄剤　低臭タイプ
サラセーヌSB	（1成分）	9（受注生産）	16	ブルーグレー	平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形一般用認証製品
サラセーヌSB立上り用	（1成分）	5		ブルーグレー	立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品
サラセーヌSB中粘度	（1成分）	9		ブルーグレー	中粘度タイプ防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形一般用認証製品
1液防水材専用硬化促進剤	（1成分）	450ml×9			1液防水材専用硬化促進剤
プライマー					
PMプライマー	（1成分）	16		（淡黄色透明）	一般モルタル・コンクリート用
サンPC-F	（1成分）	16		（褐色透明）	速乾タイプ　一般モルタル・コンクリート用
サンPC	（1成分）	16		（淡黄色透明）	ウレタン下地用プライマー
PW-100プライマー	主　剤	3 } 12ポリペール		（乳白色）	水性標準プライマー　環境対応型
	硬化剤	3		（淡黄色透明）	
	フィラー	6		（灰色紛体）	
サンPC-U2	主　剤	9		（グレー系）	金属下地用（2種ケレン）・新設コンクリート
	硬化剤	9		（淡黄色透明）	
PE-670プライマー	主　剤	8		（赤錆色）	金属下地用錆止め（3種ケレン）
	硬化剤	2		（褐色透明）	
サンPC-PS	（1成分）	15		（無色透明）	溶剤型保護仕上材用層間プライマー
PW-60プライマー	主　剤	0.5×2 } 11ポリペール		（無色透明）	層間プライマー（TWトップおよびTWサーモ） 環境対応型
	硬化剤	5×2		（乳白色透明）	
サンPC-FV	（1成分）	17	1×10	（無色透明）	異種部材用プライマー（塩ビシート、FRP下地用）
PJ層間プライマー	（1成分）	5		（淡黄色透明）	塗り重ね用・層間プライマー　環境対応型
PW-700プライマー	主　剤	10		（白色）	金属下地用水性プライマー　環境対応型
	硬化剤	5		（淡黄色透明）	
ウレタン希釈剤	（1成分）	16L		（無色透明）	溶剤型プライマー用　希釈・洗浄剤
保護仕上材					
RMフッ素	主　剤	2		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材
	硬化剤	6			
RMフッ素サーモ	主　剤	2		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材　遮熱用
	硬化剤	6			
CRトップ	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材
	硬化剤	9			
CRトップ半艶	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材　艶消し仕上げ
	硬化剤	9			
CRサーモ	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材　遮熱用
	硬化剤	9			
サラセーヌTフッ素水性	主　剤	1		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	10			
サラセーヌ Tフッ素水性サーモ	主　剤	1		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材　環境対応型　遮熱用
	硬化剤	10			
TWトップ	主　剤	1		標準色39ページ参照	水性保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	10			
TWサーモ	主　剤	1		標準色39ページ参照	水性保護仕上材　環境対応型　遮熱用
	硬化剤	10			
TJフッ素	主　剤	2		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	6			
TJフッ素サーモ	主　剤	2		標準色39ページ参照	超耐候性保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	6			
TJトップ	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	9			
TJトップ半艶	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材　環境対応型　艶消し仕上げ
	硬化剤	9			
TJサーモ	主　剤	6		標準色39ページ参照	標準保護仕上材　環境対応型　遮熱用
	硬化剤	9			
TSトップ	主　剤	6		標準色39ページ参照	高耐候性保護仕上材　環境対応型
	硬化剤	9			
TSトップ半艶	主　剤	6		標準色39ページ参照	保護仕上材　環境対応型　艶消し仕上げ
	硬化剤	9			
TSサーモ	主　剤	6		標準色39ページ参照	高耐候性保護仕上材　環境対応型　遮熱用
	硬化剤	9			
チップ#20	（1成分）	0.3×4袋		（灰色紛体）	粗面仕上げ用添加剤
TKパウダー	（1成分）	5		（白色紛体）	水性保護仕上材用艶消し剤

	種類・成分	消防法関係			
		危険物区分	水溶性	危険等級	液比重
	超速硬化型ウレタン吹付材	4類4石	—	Ⅲ	1.09
		4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	超速硬化型ウレタン吹付材	4類4石	—	Ⅲ	1.08
		4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	超速硬化型ウレタン吹付材	4類4石	—	Ⅲ	1.12
		4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	顔料ペースト	4類4石	—	Ⅲ	1.61
	ウレタン防水材	4類4石	—	Ⅲ	1.06
		指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.60
	ウレタン防水材	4類4石	—	Ⅲ	1.06
		指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.60
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.11
	環境対応型特化則非該当 (特定化学物質無配合ウレタン防水材)	4類4石	非水溶性	Ⅲ	1.03
		4類4石	—	Ⅲ	1.60
	環境対応型特化則非該当 (特定化学物質無配合ウレタン防水材)	4類4石	非水溶性	Ⅲ	1.03
		指定可燃物可燃性固体類	—	Ⅲ	1.60
		4類4石	—	Ⅲ	0.99
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.77
	環境対応型特化則非該当 (特定化学物質無配合ウレタン防水材)	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.32
	環境対応型特化則非該当 (特定化学物質無配合ウレタン防水材)	指定可燃物可燃性固体類	—	Ⅲ	1.32
	環境対応型特化則非該当 (特定化学物質無配合ウレタン防水材)	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.32
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.89
	湿気硬化型ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.98
	湿気硬化型ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.01
	湿気硬化型ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.00
	水性エポキシ系（低臭タイプ）	非危険物	—	—	1.02
		非危険物	—	—	1.03
		非危険物	—	—	—
	エポキシ変性ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.28
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.98
	エポキシ系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.50
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.00
	ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.90
	水性ウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
		非危険物	—	—	1.01
	湿気硬化型ウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.96
	ウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.04
	水性エポキシ系	非危険物	—	—	1.06
		非危険物	—	—	1.03
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.87
	溶剤型フッ素樹脂系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.92
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.20
	溶剤型フッ素樹脂系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.92
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.20
	溶剤型アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.95
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.17
	溶剤型アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.95
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.18
	溶剤型アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.95
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.25
	水性フッ素樹脂系	4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.10
		非危険物	—	—	1.10
	水性フッ素樹脂系	4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.10
		非危険物	—	—	1.20
	水性アクリルウレタン系	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.09
		非危険物	—	—	1.15
	水性アクリルウレタン系	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.09
		非危険物	—	—	1.17
	フッ素樹脂系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.02
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	弱溶剤型 フッ素樹脂系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.02
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	弱溶剤型アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
	アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
	弱溶剤型アクリルウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
	弱溶剤型アクリルシリコーン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
	アクリルシリコーン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
	弱溶剤型アクリルシリコーン系	4類2石		Ⅲ	0.99
		4類2石		Ⅲ	1.16
	無機系バルーン	—	—	—	—
		—	—	—	—

チップ#20

- 粗面仕上げ用無機系バルーン
- 添加量：保護仕上材に対して、重量比で2%とします。
- 荷姿：1.2kg（0.3kg×4袋入り）/箱
- 注意事項：

①チップを過剰に混入すると分布が不均一となり、仕上がりムラとなります。
②チップを混入した保護仕上材を放置するとチップが分離します。容器の中でよく混ぜながら塗布してください。
③淡色系の色目の場合、チップが透けて黒い斑点状になることがあります。
④水濡れ厳禁。

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)

がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

・認証製品とは、品質管理体制が基準に適合し、かつJIS規格に適合した製品をいいます。

注）独立行政法人都市再生機構・階段室床防水で採用された難燃剤入り超速硬化ウレタン吹付け床材については、別途お問合せください。

製品情報

製品一覧

製品名	荷姿	用途・特長
機械的固定メカロックML工法／外断熱・機械的固定AIM工法		
Mシート	幅1.04m×長さ15m	機械的固定工法用絶縁シート
MLテープ	幅50mm×長さ50m×10巻	Mシートジョイント処理用テープ
クロス#5140N	幅140mm×長さ50m×7巻	Mシートジョイント補強用クロス
MLアンカー40（ディスク一体）	7.5mmφ（30mmφディスク） L：40mm（500本）	Mシート用固定金具
MLアンカー60（ディスク一体）	7.5mmφ（30mmφディスク） L：60mm（500本）	Mシート用固定金具
MLアンカー70（ディスク一体）	7.5mmφ（30mmφディスク） L：70mm（500本）	Mシート用固定金具
MLアンカー80（ディスク一体）	7.5mmφ（30mmφディスク） L：80mm（500本）	Mシート用固定金具
スペーサー 20	内径10mmφ×長さ20mm（500本）	断熱ボード用スペーサー
スペーサー 30	内径10mmφ×長さ30mm（500本）	断熱ボード用スペーサー
ウレタンボード　25t	605mm×910mm	25mm厚み断熱ボード（旧JIS A 9511:A種保温板2種1号相当）
ウレタンボード　30t	605mm×910mm	30mm厚み断熱ボード（旧JIS A 9511:A種保温板2種1号相当）
ウレタンボード　35t	605mm×910mm	35mm厚み断熱ボード（旧JIS A 9511:A種保温板2種1号相当）
ウレタンボード　40t	605mm×910mm	40mm厚み断熱ボード（旧JIS A 9511:A種保温板2種1号相当）
ウレタンボード　50t	605mm×910mm	50mm厚み断熱ボード（旧JIS A 9511:A種保温板2種1号相当）
Sボード　20t	910mm×910mm	20mm厚み断熱ボード
Sボード　M2-R 25t	910mm×910mm	25mm厚み断熱ボード
Sボード　M2-R 30t	910mm×910mm	30mm厚み断熱ボード
Sボード　M2-R 35t	910mm×910mm	35mm厚み断熱ボード
Sボード　M2-R 40t	910mm×910mm	40mm厚み断熱ボード
Sボード　M2-R 50t	910mm×910mm	50mm厚み断熱ボード
両面ブチル粘着テープ#718	幅50mm×長さ15m×5巻	断熱ボード仮固定用両面テープ
Mテープ	幅50mm×長さ50m×6巻	断熱ボード・ジョイント処理用
ディスク盤D	100枚	断熱ボード仮固定用ディスク盤
Fプラグ・ビス　6H60	100本	6mm径、ディスク盤D専用
Fプラグ・ビス　6H90	100本	6mm径、ディスク盤D専用
ディスク盤S	100枚	高断熱仕様（ボード厚み大）対応、 Mシート固定用ディスク盤
Fプラグ・ビス　8H100	100本	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
Fプラグ・ビス　8H120	100本	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
Fプラグ・ビス　8H150	100本	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
MBテープ100	幅100mm×長さ20m×8巻	MシートおよびQVシート端末処理用
副資材		
AD骨材#10	25kg	駐車場工法用
見切りバッカー	（幅15mm×高さ4mm×長さ1m）×100本/箱	見切り養生用バックアップ材
MBテープ50	幅50mm×長さ20m×16巻	ジョイント処理用
サラセーヌクロス#2000	幅1m×長さ100m	補強用クロス（平場用および立上り部用）
サラセーヌクロス#4000	幅1m×長さ50m	補強用クロス（平場用および立上り部用）
サラセーヌクロス#4100	幅100mm×長さ50m×10巻	補強用クロス（クラック・出入隅など）
サラセーヌクロス#4200	幅200mm×長さ50m×5巻	補強用クロス（端末部処理用）
クロステープ#100	幅100mm×長さ50m×4巻	ガラス繊維織布
クロステープ#200	幅200mm×長さ50m×2巻	ガラス繊維織布
AG水切りテープ	幅50mm×長さ50m×4巻	パラペットアゴ用　水切りテープ

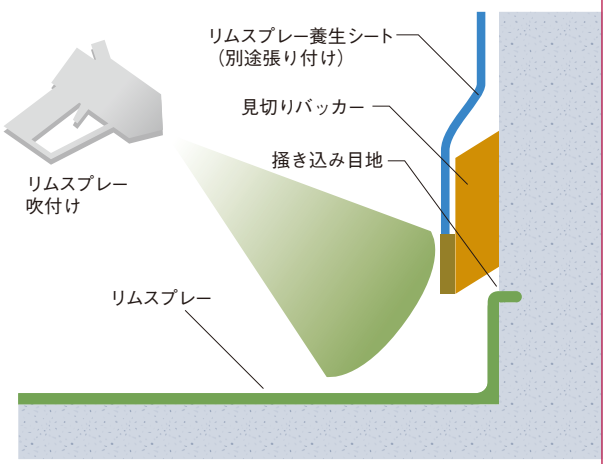
	種類・成分
	自着層付き改質アスファルト／ポリエステルフィルム
	自着層付きポリエステルフィルム
	自着層付きポリエステル繊維クロス
	アルミ製
	アルミ製
	アルミ製
	アルミ製
	アルミ製
	アルミ製
	硬質ウレタンフォーム
	硬質ウレタンフォーム
	硬質ウレタンフォーム
	硬質ウレタンフォーム
	硬質ウレタンフォーム
	押出法ポリスチレンフォーム（カットボード）
	押出法ポリスチレンフォーム
	押出法ポリスチレンフォーム
	押出法ポリスチレンフォーム
	押出法ポリスチレンフォーム
	押出法ポリスチレンフォーム
	両面自着層テープ
	自着層付きアルミテープ
	ステンレス製
	ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ
	ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ
	ステンレス製
	ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ
	ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ
	ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ
	自着層付きブチルゴムテープ
	黒灰色セラミック系骨材（平均粒径0.3～1.7mm）
	自着層付きブチルゴムテープ
	ガラス繊維織布
	ポリエステル織布
	ポリエステル織布
	ポリエステル織布
	補強用クロス（クラック・出入隅など）
	補強用クロス（AVシート端末部処理など）
	ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム

AD骨材#10

- 駐車場工法用セラミック系骨材
  （平均粒径0.3～1.7mm）
- 荷姿：25kg/袋
- 使用方法
  ・スキャッターマシン、リシンガンなどを用いて、リムスプレーと同時に吹き付けてください。

見切りバッカー（特許登録済　No.4350992）

- ウレタン吹付け材見切り養生用バックアップ材
- 養生を撤去する際に、カッターで切り込みを入れる必要がありません。
- 荷姿：見切りバッカー（幅15mm×高さ4mm×長さ1m）×100本/箱



スプレーガンの陰となり不連続となる

製品情報

製品一覧

製品名	荷姿（kg）			色（外観）	用途・特長
通気緩衝AV工法					
サラセーヌRWボンド	主　剤	10 5 } 15ポリペール		（乳白色）	AVシート張付け用接着材　環境対応型
	硬化剤			（淡黄色透明）	
サラセーヌAVボンド	主　剤	8		（グレー系）	AVシート張付け用接着材
	硬化剤	8			
サラセーヌEZ目止め	主　剤	8		（ブルーグレー系）	AVシート目止め用高粘度防水材　環境対応型 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形） 共用認証製品
	硬化剤	16			
サラセーヌAV-W	主　剤	8		（グレー系）	AVシート目止め用高粘度防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形 共用認証製品
	硬化剤	16			
サラセーヌAVシート	幅1m×長さ20m			（ベージュ系）	有孔通気緩衝シート
サラセーヌAVシートブルー	幅1m×長さ40m			（ブルー系）	有孔通気緩衝シート
スリットテープ （サラセーヌAVスリット）	幅50mm×長さ100m				AVシート突合せ部処理用 100mm間隔に切り目あり
通気緩衝QV工法					
QVシート	幅1.04m×長さ15m			（グリーン系）	無孔通気緩衝シート　自着層付き
ジョイントテープ（QVテープ）	幅100mm×長さ50m×4巻				QVシートジョイント処理用テープ
脱気装置					
SRステンレスベント	2個				逆流防止弁付き脱気筒
SRパラベント	10個				逆流防止弁付き立上り用脱気盤
サラセーヌSUS304脱気筒	2個				平場用脱気筒
サラセーヌ立上り用脱気盤	5枚				立上り用脱気盤
プール工法					
リムスプレーP-3300	主剤	18	200	（淡黄色透明）	プール水槽用防水材 （社）日本水道協会規格 JWWA K 143:2004適合
	硬化剤	17	182	（褐色透明）	
プールトップカラー	主剤	1	3	28ページ参照	P-3300専用保護仕上材
	硬化剤	4	12		
プールトップカラー希釈剤	（1成分）	15		（無色透明）	プールトップカラー専用希釈剤
フッ素クリア	主剤	1		（淡黄色）	P-3300専用クリアタイプ保護仕上材
	硬化剤	13		（淡黄色透明）	
フッ素クリア希釈剤	（1成分）	16		（無色透明）	フッ素クリア専用希釈剤

	種類・成分	消防法関係			
		危険物区分	水溶性	危険等級	液比重
	水性エポキシ系	非危険物	—	—	—
		非危険物	—	—	—
	ウレタン系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.01
		指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.76
	ウレタン防水材	4類4石	—	Ⅲ	1.03
		指定可燃物可燃性固体類	—	—	—
	ウレタン防水材	4類4石	—	Ⅲ	1.06
		指定可燃物可燃性固体類	—	—	—
	ポリエステル不織布	—			
	ポリエステル不織布				
	自着層付きポリエステル不織布／ポリエチレンフィルムテープ				
	改質アスファルト／ポリエステルフィルム	—			
	ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム				
	ステンレス製	—			
	ステンレス製				
	ステンレス製				
	ステンレス製				
	超速硬化ウレタン吹付材	4類4石	—	Ⅲ	1.12
		4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	アクリルウレタン系	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.98
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.95～1.16
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.86
	フッ素樹脂系	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.09
		4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.0
		4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.86

製品取り扱い上のご注意

施工に先立ち、使用する材料について製品安全データシート（SDS）を事前に入手し、貯蔵・保管方法、取扱い方法および事故が発生した場合の応急処置などを、作業者に周知徹底させてください。ラベルに記載された労働安全に係わる事項も併せて確認してください。製品安全データシート（SDS）については、当社にお問い合わせください。

■ 施工時の安全と注意

- 危険防止のため，荷揚げ設備周辺や作業現場周辺には他の作業員を近づけないようにしてください。
- スプレー作業時にはスプレーミストが飛散します。ミスト飛散対策のため、ローリング設置を行うなど、養生を十分に行ってください。また、強風時の施工は避けてください。
- 作業時には服装を整え，ヘルメット、保護手袋を正しく着用し、吹付け時には目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- 換気の悪い所で施工する場合は、有機溶剤マスクを着用するほか、換気に注意し、また監視員を置くなどの安全対策を講じてください。
- 火災予防のため、作業現場には火気を近づけないようにし、消火器などを設置するなどの安全対策を講じてください。
- 材料が皮膚などに付着した場合は、せっけん水でよく洗ってください。施工後はよく手を洗い、十分にうがいをしてください。

■ 現場保管時の安全と注意

- 一部の材料を除き、消防法の規制を受けます。製品一覧表（48、52ページ）の危険物区分に従って取り扱ってください。指定数量を超える場合は、所定の手続きを踏んだ上で貯蔵してください。（「消防法の規制について」を参照）
- 火災予防のため、材料貯蔵所には火気は近づけないようにし、消火器などの消火装置を設置してください。
- 使用材料の貯蔵には、他の作業や通行に支障のない場所を選び、直射日光を避け、雨水がかからない対策を講じるとともに、立入り禁止・火気厳禁の掲示を行い、ロープで四周を囲み、安全を確保してください。
- 水性の製品は冬季に凍結の恐れがありますので、屋内に貯蔵するなど、凍結を防止してください。

■ 容器の取り扱い上の注意

1. 容器を吊り上げる際は、一缶ずつとしてください。
2. 取っ手を利用して治具で吊り上げる場合は、適切な吊り具を使用し、斜めに吊り上げないでください。（偏荷重になると取っ手が座金から外れ、落下事故が発生する危険性があります）
3. 取っ手はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げるように取り扱ってください。

■ 材料保管時の安全と注意

1. 乾燥した冷暗所に置いてください。
2. 子供の手の届かないところに保管してください。
3. 容器は密閉したままで保管し、火気に注意してください。
4. 上記1および3を条件として、防水材などの液状製品の安定貯蔵期間は製造後12ヵ月ですが、一部の製品は6ヵ月となります。ラベルの製造年月日を確認してください。ウレタン主剤もしくはプライマーで缶の中でゲル化していないもの、硬化剤で液分離していても再攪拌すれば元の状態に戻るものは、安定貯蔵期間を過ぎてもご使用いただけます。
5. 水性の製品は凍結の恐れがありますので、保管に注意してください。
6. 紙包装や段ボール入りの製品は、水に濡れないよう保管に注意してください。
7. 一度開缶したもので、やむを得ず残った材料は、必ず密栓し、できるだけ早く使い切ってください。
   （一度開缶した1液防水材は残さず使い切ってください）

■ 産業廃棄物処理について

- 施工後の廃材（材料が付着した廃缶、洗浄用の廃溶剤、使用済み用具など）は、まとめて産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理してください。

- 水性の製品で使用した工具類を洗浄した水は、廃液として産業廃棄物処理してください。

■ 消防法の規制について

リムスプレーは一部の製品を除き、消防法の規制を受けます。製品一覧（48、52ページ）の危険物区分に従って取り扱ってください。

危険物区分

種　別	記　号	指 定 数 量
第四類　第一石油類	4類1石	200リットル　（非水溶性）
	4類1石（水溶性）	400リットル　（水溶性）
第四類　第二石油類	4類2石	1,000リットル（非水溶性）
	4類2石（水溶性）	2,000リットル（水溶性）
第四類　第三石油類	4類3石	2,000リットル（非水溶性）
	4類3石（水溶性）	4,000リットル（水溶性）
第四類　第四石油類	4類4石	6,000リットル

種　別	記　号	指定数量
第二類　第一種可燃性固体	2類1固	100kg
第二類　第二種可燃性固体	2類2固	500kg
第二類　引火性固体	2類引固	1,000kg

指定可燃物

指定可燃物　可燃性液体類	指・液	2m^3
指定可燃物　可燃性固体類	指・固	3,000kg

危険物の取り扱い

- 指定数量以上の危険物を作業現場で臨時に貯蔵したり取り扱う場合には、所轄の消防本部または消防署長に、また消防本部などのない市町村では市町村長に申請して、仮貯蔵や取り扱いの承認を受ける必要があります。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物を同一の場所で貯蔵したり取り扱う場合にも、品名ごとの数量をそれぞれの指定数量で除して、その商の和が1以上になるときは、指定数量以上危険物を貯蔵し、または取り扱っているものとみなされます。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物の貯蔵も、類別ごとにまとめて、それぞれ1m以上の間隔を置けば同時に貯蔵することができます。
- 指定数量の1/5以上、1未満の危険物の貯蔵取り扱いは、市町村の火災予防条例により規制の対象となるため、所轄の消防署に届け出る必要があります。
- 指定可燃物が指定数量1以上の場合には、市町村条例により、所轄の消防本部または消防署長に届け出る必要があります。
- 詳細については、所轄の消防本部または消防署にご確認ください。

計算例

リムスプレーSD-RR20CR工法で1,000m^{2}の施工現場に使用材料を搬入して貯蔵する場合。

商　品　名		区　分	使用量（kg）	液 比 重	貯蔵量（L）
PMプライマー		4類1石	200	0.95	211
リムスプレーR-2000	主　剤	4類4石	1,000	1.09	917
	硬化剤	4類3石	910	1.02	892
リムトナー		4類4石	40	1.61	25
CRトップ	主　剤	4類2石	80	0.95	84
	硬化剤	4類2石	120	1.17	103

＊貯蔵量（L）＝使用量（kg）÷液比重

（4類1石）

211L（貯蔵量）÷200L（指定数量）＝1.06

（4類2石）

84L＋103L（貯蔵量）÷1,000L（指定数量）＝0.19

（4類3石）

892L（貯蔵量）÷2,000L（指定数量）＝0.45

（4類4石）

917L ＋ 25L（貯蔵量）÷6,000L（指定数量）＝0.16

指定数量の合計＝1.86

以上の計算から危険物の指定数量の合計が1以上となり、監督官庁への届出が必要となります。

指定数量以上の貯蔵・取り扱いには、甲種または乙種危険物取扱者を任命し、危険物の取り扱いに関し保安監督させる必要があります。

ご採用いただいたお客様へ

■ 施工中のお願い

- 工事現場や資材置き場は危険ですので、工事中は近寄らないでください。材料や工具に手を触れないようにしてください。特に小さなお子様には注意をお願いします。
- 慣れない臭気が発生する場合があります。施工中はなるべく窓を閉めるなど、直接外気に接しないようご協力をお願いします。
- 施工終了後でも数日間の養生が必要です。施工管理者の指示に従って、養生期間中は水をこぼしたり、歩いたり、重いものを置いたりしないようご協力をお願いします。

■ 屋根用ウレタン塗膜防水材(露出工法)の使用上の注意事項

- 防水層の上を歩行する場合は、スパイクシューズ等、防水層を損傷する恐れのある履き物で歩かないでください。
- 防水層の表面が水などで濡れている場合は、滑りやすい履き物で歩かないでください。
- 防水層の上で火気は使用しないでください。
  バーベキュー、花火、煙草の吸い殻の投げ捨てや溶接作業等はしないでください。
- 防水層の上に溶剤、ガソリン、灯油、不凍液等、有機薬品をこぼさないでください。
- 重量物や鋭利な道・工具、硬いブラシ等を取り扱う場合は、必ず防水層の上を養生してください。
  防水層の上で重い箱等を引張ったり、角材等を落としたりすると防水層が剥離する、穴があくといった損傷を受けます。
- 防水層の上にイス、テーブル等を置く場合は、脚の接地面をゴムキャップ、マット等で保護してください。
- 防水層の上でゴルフの練習や一輪車、ローラースケート等のスポーツや運動をしないでください。
  クラブや車輪、ローラー等で防水層を傷つけることがあります。
- 防水層の上で犬、猫等ペットを飼わないでください。犬、猫等の糞尿を流したり付着させたりしないでください。
- 防水層の上に草花や野菜等の植物を直接植えないでください。
- 防水層の清掃には中性洗剤を使用してください。
- クーリングタワー防藻剤、殺菌剤等は、防水層に損傷を与えない適切なものを使用してください。

■ 屋根用ウレタン塗膜防水材の維持管理のお願い

屋根用ウレタン塗膜防水材の防水性能を長期にわたって維持するために、次の維持管理をお願いします。

- 定期的に防水層の清掃を行ってください。特にドレンまわり、排水溝の泥、枯葉等をよく除去してください。
- 数年毎に次のように表面状態の点検を行ってください。異常が認められた場合は請負業者に連絡し、補修してください。
  - ・保護仕上材が薄くなっている個所がないか、剥離している個所がないか。
  - ・保護仕上材にひび割れが生じていないか。
  - ・防水層の浮き、ふくれがないか。
  - ・防水層にカラス、鳥類の穴あけの被害はないか。
- 使用頻度や歩行状況により、保護仕上材が著しく摩耗や損傷し、耐久性、防滑性、安全性に支障をきたす場合があります。異常が認められた場合は、請負会社に連絡し、補修してください(有償)。
- 保護仕上材は定期的に塗り替えてください(有償)。
- 保護仕上材の維持管理の詳細については「保護仕上材のメンテナンス」(40ページ)をご覧ください。

■ 駐車場床ウレタン防水工法の使用上の注意事項

- 走行の際は速度制限を徹底してください。(8km/hr以下)
- 塗膜層を損傷する恐れがあるため、チェーン装着車、除雪車、車高の低い車などは乗り入れを厳禁としてください。
- 塗膜層が損傷するため、車の急発進、急ブレーキ、急ハンドルは厳禁としてください。
- 塗膜層の上を歩行する場合は、スパイクシューズなど、塗膜層を損傷する恐れのある履き物で歩かないでください。
- 塗膜層の表面が水などで濡れている場合は、滑りやすい履き物で歩かないでください。
- 塗膜層の上で火気は使用しないでください。
  バーベキュー、花火、煙草の吸い殻の投げ捨てや溶接作業などはしないでください。
- 塗膜層の上に溶剤、ガソリン、灯油、不凍液など、有機薬品をこぼさないでください。
- 重量物や鋭利な道・工具、硬いブラシなどを取り扱う場合は、必ず塗膜層の上を養生してください。
  塗膜層の上で重い箱などを引張ったり、角材などを落としたりすると塗膜層が剥離する、穴があくといった損傷を受けます。
- 塗膜層が損傷するため、除雪時に先端の尖ったスコップなどは使用しないでください。
- 塗膜層の上にイス、テーブルなどを置く場合は、脚の接地面をゴムキャップ、マットなどで保護してください。
- 塗膜層の上で犬、猫などペットを飼わないでください。犬、猫などの糞尿を流したり付着させたりしないでください。
- 塗膜層の清掃には中性洗剤を使用してください。
- クーリングタワー防藻剤、殺菌剤などは、塗膜層に損傷を与えない適切なものを使用してください。

■ 駐車場床ウレタン防水工法の維持管理のお願い

駐車場床ウレタン防水工法の防水性能を長期にわたって維持するために、次の維持管理をお願いします。

- 定期的に清掃を行ってください。特にドレンまわり、排水溝の泥、枯葉などをよく除去してください。
- 数年ごとに次のように表面状態の点検を行ってください。
  異常が認められた場合は請負業者に連絡し、補修してください。
  - ・保護仕上材及び防滑層が薄くなっている個所がないか、剥離している個所がないか。
  - ・保護仕上材及び防滑層にひび割れが生じていないか。
  - ・塗膜層の浮き、ふくれがないか。
  - ・塗膜層にカラス、鳥類の穴あけの被害はないか。
- 使用頻度・走行状況により、保護仕上材及び防滑層が著しく摩耗した場合は有償で保護仕上材並びに防滑層の塗り替え・再施工をしてください。
- 摩耗した場合の保護仕上材のおよびグリットの塗り替えは有償となります。

■ 防水保証の考え方

防水工事に関し保証期間中に漏水事故が生じた場合には、次の責任範囲により防水層に限り補修致します。

(責任範囲)

- 施工に起因する場合は、工事を請け負った元請会社ならびに施工会社の責任とします。
- 材料品質に起因する場合は、材料製造会社の責任とします。

(免責事項)

下記の場合は、本保証の対象外となります。

- 天災地変等不可抗力と認められる場合
- 工事対象物の構造上又は設計上の欠陥に起因する場合
- 防水施工箇所以外からの漏水の場合
- 過失又は故意による防水層損傷の場合
- 増改築や屋上設置物の工事等を行って、保証対象部分に手を加えた場合
- 漏水を伴わない経年劣化(フクレ、シワ、変色、保護仕上材の劣化、等)の場合
- 裏面の注意事項及び維持管理のお願いを遵守されていることが確認できない場合
- 漏水を知ってから1年以内に通知をいただけなかった場合[民法第637条]
- 債権等の消滅時効[民法第166条] ※品確法で定める新築住宅は対象外
  - ・漏水を知ってから5年間、権利を行使しない場合
  - ・漏水を知らず引渡しから10年間、権利を行使しない場合

防水保証の詳細については当社にお問い合わせください。

AGC ポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910
九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154
北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120

リムスプレー公式サイトへはこちらから

VEGETABLE OIL INK